I-O DATA

PCカード電源供給対応
外付型 8倍速ポータブルDVD-ROMドライブ
&Duo ATA PCカード

DVDP-i8

取扱説明書

株式会社 アイ・オー・データ機器

87803-01

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
3) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
5) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
6) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各1部だけ複写できるものとします。
7) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
8) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
9) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
10) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関る設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
11) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
12) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
13) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
14) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。

- I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Microsoft,Windowsは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
- Dolby、ドルビー、Pro Logicおよびダブル D記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本製品を使えば

本製品をお使いになれば、PCカードスロットがあるノートパソコンでDVD-ROMのデータを読み込んだり、DVDビデオを見ることができます。また、音楽CDを聴いたり、パソコンにCD-ROMのデータを読み込んだりすることもできます。

●製品の特長

■CardBus対応Duo ATA PCカード「CBIDEⅡA」だから、8倍速DVD-ROMドライブまたは24倍速CD-ROMドライブの性能を充分に発揮可能（添付のACアダプタ接続時）

高速モードでのリード時：　8倍速DVD…最大10.8MB/秒
24倍速CD…最大3.6MB/秒

■PCカード電源供給による動作が可能。ちょっとしたインストールなどの場合は、ACアダプタを接続しなくても使用できます。(PCカードは16bitモードのみ使用可)

※ACアダプタを接続しないとき、本製品は低速モードでの使用となります。
低速モードでのリード時：　2.5倍速DVD…最大3.4MB/秒
12倍速CD……最大1.8MB/秒

※パソコン本体によっては正常に動作しない場合があります。その場合はACアダプタを接続して使用してください。

■ノートパソコンとの持ち運びに便利な軽量薄型8倍速DVD-ROMドライブ ＋ 24倍速CD-ROMドライブ

（大きさ：140(W)×150(D)×20(H)mm…突起部を除く）

■Windows NT 4.0をサポート
添付の専用ユーティリティにより、リソース競合の回避を業界で初めて実現

※Windows NT 4.0ではDVDビデオの再生は行えません。

■低CPU占有率を実現

■CD-RWディスクリード対応（パケットライトディスクのリードにも対応）

※DirectCD Ver.2以降のランダムアクセスライト記録済みディスクは、Adaptec社の「DirectCD UDF Reader」を使用すれば読むことができます。「DirectCD UDF Reader」の詳細に関しては以下を参照してください。（http://www.adaptec.co.jp/download/index.html）

■デジタルオーディオ機能対応
音楽CDをノートパソコン本体から直接聞くことができます。

※対応OSはWindows Me/98、Windows 2000のみで、ノートパソコン本体がデジタルオーディオ機能に対応している必要があります。

■DVD-RAMディスクの読み込みに対応

※4.7GB/2.6GB Single Sided TYPEⅡ
（書き込みはできません。viiページ参照）

■映画をみよう！「PowerDVD VR-X」

※ 本製品には、DVDビデオは添付しておりません。

・I-O DATAオリジナルの操作画面により、誰でも簡単にDVDビデオをお楽しみいただけます。

・バイリンガルキャプション（多重字幕）機能搭載
2カ国語の字幕を同時に表示可能！
“英語と日本語の字幕を表示してDVDビデオで英語学習”という使い方も可能です。

・デジタルズーム機能搭載
お気に入りの場面の特定個所を縦横比関係無く4倍、9倍にズーム可能です。

・DVD VideoRecordingファイルの再生（簡易再生）に対応

・Dolby Headphone標準搭載
市販のヘッドホンを使用して手軽にサラウンド環境を手にすることができます。

呼び方

Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Operating Systemおよび Microsoft® Windows® 98 Operating System Second Editionの総称
Windows 95	Microsoft® Windows® 95 Operating System
Windows Me/98/95	Windows Me,Windows 98およびWindows 95の総称
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional
Windows NT 4.0	Microsoft® Windows NT® Operating System Version 4.0 Workstation

使用しているアイコン

	《注意》 注意してほしい事項を記述しています。必ずお守りください。
	《コラム》 用語解説や本製品を使う上で役に立つ情報を記述しています。

必ずお守りください

添付の『安全で快適にお使いいただくために』も併せてご覧ください。また、「サポートソフト」内の「README.TXT」を必ずご覧ください。

●本製品のPCカード(CBIDEⅡA)についての注意

本製品のPCカード(CBIDEⅡA)は、DVDP-i8専用です。
CBIDEⅡAは電源供給(Power Supply)タイプのPCカードのため、別売品および弊社ポータブルシリーズ付属の「CBIDEⅡ」「CI-iCN」とは異なります。



CBIDEⅡAを他の製品（弊社製ポータブルシリーズ含む）に使用すると使用した機器を破損する恐れがありますので、絶対に使用しないでください。

●本製品のPCカードと他のPCカードを同時に使用する場合の注意

・本製品のPCカードを「CardBusモード」に設定した場合

・他のCardBus PCカードと同時に使用できない場合があります。
⇒ その場合は、本製品のPCカードを「16bitモード」に変更するか、本製品のPCカードと他のCardBus PCカードを同時に使用しないでください。

・16bit PCカードと同時に挿入した状態でOSを起動すると、OSが起動途中で止まってしまう場合があります。
⇒ その場合は、本製品のみを挿入した状態でパソコンを起動し、他の16bit PCカードはOS起動後に挿入してください。

・本製品のPCカードを「16bitモード」に設定した場合

CardBus PCカードと同時に挿入した状態でOSを起動すると、OSが起動途中で止まってしまう場合があります。
⇒ その場合は、本製品のみを挿入した状態でパソコンを起動し、他のCardBus PCカードはOS起動後に挿入してください。

●地域コード（リージョンコード）についての注意

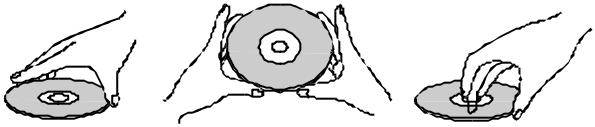
本製品は、日本の地域コードである２に設定されています。
ソフトウェアDVDプレーヤーなどで他の地域コードに設定した場合、弊社では保証いたしかねます。あらかじめご了承ください。

●DVDビデオの再生についての注意

本製品で、DVDビデオを再生する場合は、必ず付属のPCカードのモードを「CardBusモード」に設定してください。「16bitモード」に設定して、DVDビデオを再生するとコマ落ちが発生する場合があります。
（Windows NT 4.0はCardBusモードで使用できないため、DVDビデオの再生はできません。あらかじめご了承ください。）

●ディスクの取り扱いについて

・ディスクを直接持つときは光沢のある場所に触らないようにしてください。両端をはさむようにして持つか、中央の穴と端をはさんでください。



・正しい再生をするためと、振動や回転音が大きくなるなどのトラブルを防ぐため、ディスクに紙やシールなどを貼らないでください。
・ひびの入ったディスクや反ってしまったディスクは絶対に使用しないでください。また、割れたディスクをテープ類や接着剤で貼りあわせて使用しないでください。高速回転しますので、欠陥のあるディスクは危険です。



・指紋・油・ゴミなどを付けないでください。汚れた場合は、乾いた柔らかい布で内側から外側に向けて吹いてください。
・熱を加えないでください。
・表面を傷つけないようにケースからの出し入れにはご注意ください。

必要なシステム

●対応機種・OS

対応機種	対応OS
NEC PC98-NXシリーズ※	Windows Me Windows 98(Second Edition含む) Windows 95(OSR2以降) Windows 2000 Windows NT 4.0(Service Pack 4以降)
CPU Pentium 75MHz以上の **DOS/Vマシン※** **（弊社では、OADG加盟メーカーのDOS/Vマシンで動作確認を行っております。）**	Windows Me Windows 98(Second Edition含む) Windows 95(OSR2以降) Windows 2000 Windows NT 4.0(Service Pack 4以降)

※ インストール用のフロッピーディスクドライブが必要となります。

●PowerDVD VR-X動作環境

本製品に添付のPowerDVD VR-Xの動作環境については「PowerDVD VR-Xクイックガイド」ご覧ください。

・以下の場合DVDビデオの再生はできません。（コマ落ちが発生するため）
①PCカード(CBIDE IIA)を16bitモードで使用するとき
②Windows NT 4.0で使用するとき（16bitモードのみ対応のため）
・「PowerDVD VR-X」はサービス品です。弊社ではサポート致しかねます。
「PowerDVD VR-X」のお問い合わせは111ページをご覧ください。

●PCカードに接続できる周辺機器

本製品のPCカード（CBIDEⅡA）は、本製品専用です。他の周辺機器には使用できません。

本製品のPCカード（CBIDEⅡA）は、電源供給（Power Supply）タイプのPCカードのため、別売品や弊社「CBIDEⅡ」「CI-iCN」とは異なります。



CBIDEⅡAを本製品以外に使用すると破損する恐れがあります。絶対に使用しないでください。

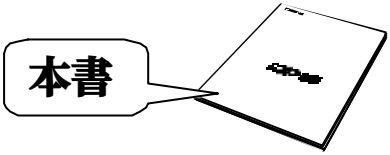
●対応ディスク（読み込みのみ）

ディスクの種類	備考
DVD-ROM	-
DVD-RAM※	2.6GB TypeⅡおよび4.7GB TypeⅡ （ACアダプタなしで使う場合は読み込み不可）
CD-ROM	-
CD-R	-
CD-RW	-
DVDビデオ ビデオCD	添付のPowerDVD VR-Xをご使用ください。
CD-DA（音楽CD）	-
Photo CD CD TEXT	対応したソフトウェアが別途必要です。

※ ≪DVD-RAMディスクの読み込みについて≫
DVD-RAMは、UDFフォーマット（Revision 1.02）されたディスクのみ読み込み可能です。対応OSは、Windows Me、Windows 98およびWindows 2000のみとなります。

取扱説明書の読み方

DVD-i8取扱説明書



▼内容

DVD-ROMドライブを取り付ける前の準備、セットアップ方法について記述しています。以下の流れに沿って、必要な個所をお読みください。

準備する

DVD-ROMドライブを取り付ける前の準備について説明しています。

ご使用のOSにより必要なところをお読みください。

Windows Me/98/95で使う

本製品をWinodws Me/98/95で使う場合は、こちらをご覧ください。

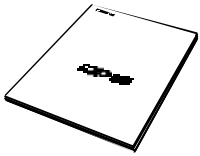
Windows 2000で使う

本製品をWinodws 2000で使う場合は、こちらをご覧ください。

Windows NT 4.0で使う

本製品をWinodws NT 4.0で使う場合は、こちらをご覧ください。

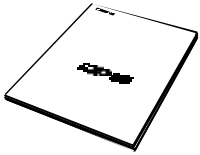
PowerDVD VR-Xクイックガイド



▼内容

DVDビデオ再生ソフト「PowerDVD VR-X」について記述しています。PowerDVD VR-Xを使用するときにお読みください。

Windows再セットアップガイド



▼内容

本製品（PCカード[CBIDEⅡA]とDVD-ROMドライブ）を使用してWindowsを再セットアップする方法を、機種別に記述しています。Windowsを再セットアップするときのみご覧ください。

もくじ

本製品を使えば・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ i
呼び方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ iii
使用しているアイコン・・・・・・・・・・・・・・・・ iii
必ずお守りください・・・・・・・・・・・・・・・・・ iv
必要なシステム・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ vi
取扱説明書の読み方・・・・・・・・・・・・・・・・・ viii

準備する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

1．箱の中を確認する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
2．各部の機能を確認する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
3．使うモードを決める・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7

Windows Me/98/95で使う・・・・・・・・・・・・・・１１

1．インストールする・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２
インストール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２
インストール後の確認・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１６
2．基本操作 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２０
ディスクの入れ方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２０
ディスクの出し方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２１
PCカードの入れ方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２３
PCカードの出し方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２４
3．使ってみよう・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２９
ディスクのファイルを見る ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２９
DVDビデオを見る ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３０
音楽CDを聴く・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３１

Windows 2000で使う・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３９

１．インストールする・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４０
インストール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４０
インストール後の確認・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４６

２．基本操作 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４８
ディスクの入れ方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４８
ディスクの出し方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４９
PCカードの入れ方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５１
PCカードの出し方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５２

３．使ってみよう・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５６
ディスクのファイルを見る ・・・・・・・・・・・・・・・・・・５６
DVDビデオを見る ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５７
音楽CDを聴く ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５８

Windows NT 4.0で使う・・・・・・・・・・・・・・・・・６３

１．インストールする・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６４
インストール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６４
インストール後の確認・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６８

２．基本操作 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７２
ディスクの入れ方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７２
ディスクの出し方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７３
PCカードの入れ方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７５
PCカードの出し方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７６

３．使ってみよう・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７７
ディスクのファイルを見る ・・・・・・・・・・・・・・・・・・７７
音楽CDを聴く ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７８

付録・・７９

困ったときには・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８０
ACアダプタ無しで使う・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９８
ドライバを削除する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０２
仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０７

ユーザー登録をしよう・・・・・・・・・・・・・・・１１０
PowerDVD VR-Xのお問い合わせ ・・・・・・・・・・１１１
サポートセンターへのお問い合わせ・・・・・・・・１１２
サポートソフトのバージョンアップ・・・・・・・・１１３
修理について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１４



コラムのもくじ

**CardBus搭載の確認方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

準備する

この章では、本製品をパソコンへ接続する前の準備について、順を追って説明しています。

1．箱の中を確認する 2ページ

箱の中身を確認します。

2．各部の機能を確認する 4ページ

本製品の各部の名称と機能を確認します。

3．使うモードを決める 7ページ

PCカードのモードを決定/設定します。

1．箱の中を確認する

ご使用の前に以下のものがそろっていることを □ にチェックをつけながらご確認ください。
万一、不足品がありましたら、弊社サポートセンターまでお知らせください。

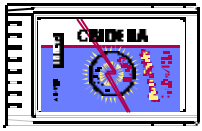
・箱/梱包材は大切に保管し、修理などの輸送の際にご利用ください。
・イラストは若干異なる場合があります。

●内容物

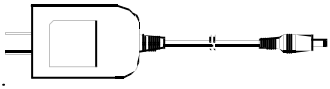
□ **DVD-ROMドライブ（1台）**



□ **PCカード（1枚）**
［CBIDEⅡA］



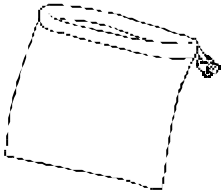
□ **ACアダプタ（1本）**



□ **専用接続ケーブル（1本）**



□ **ソフトキャリーケース（1つ）**



●添付ソフトウェア

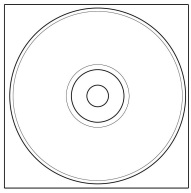
「サービス品」と表記されているものは、弊社ではサポート致しかねます。
あらかじめご了承ください。

☐ **CBIDEⅡシリーズサポートソフト**
（フロッピーディスク：1枚）



▼内容
PCカードのドライバソフト

☐ **DVDビデオスターターキット**
（CD-ROM：1枚）



▼内容
DVDビデオ再生ソフト
「PowerDVD VR-X」**（サービス品）**

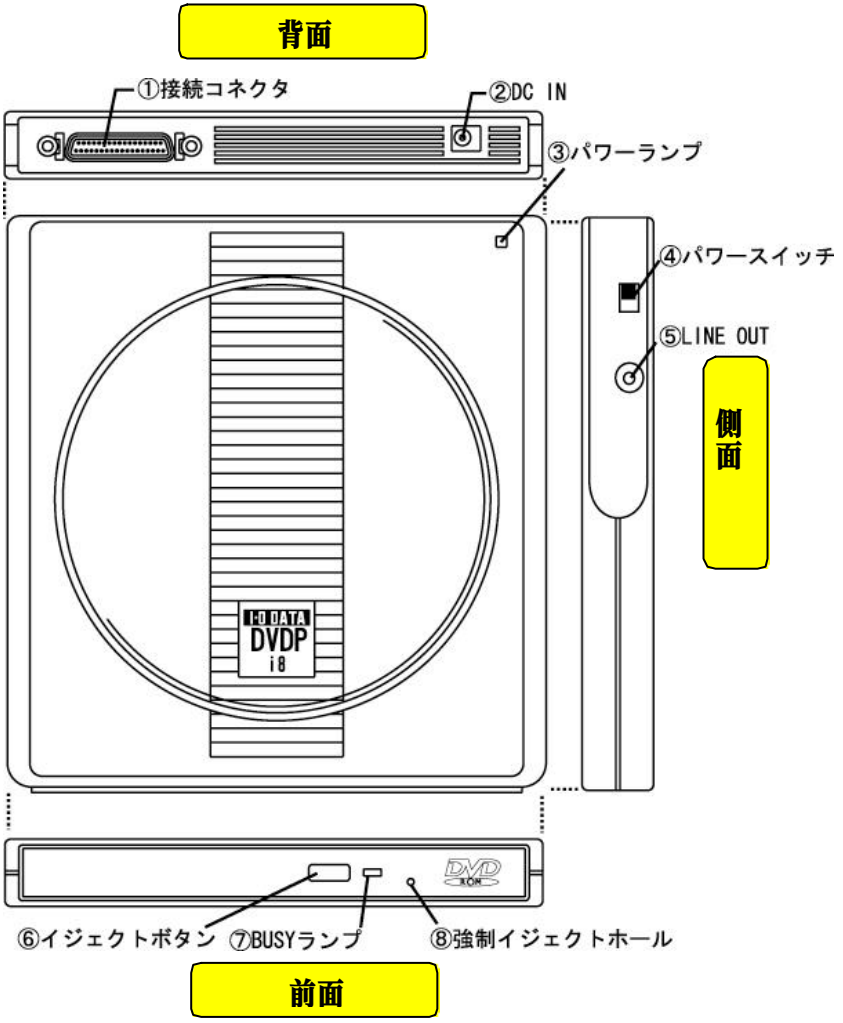
●その他

- ☐ **『安全で快適にお使いいただくために』（1冊）**
- ☑ **DVD-i8取扱説明書（本書）**
- ☐ **クイックリファレンス『DVDで映画を観よう』（1冊）**
- ☐ **ハードウェア保証書（2枚）**
- ☐ **ハードウェアシリアルNo.シール（2枚）**
- ☐ **Verシール（1枚）**
- ☐ **ユーザー登録カード（1枚）**
- ☐ **PowerDVD VR-Xクイックガイド（1冊）**
- ☐ **Windows再セットアップガイド（1冊）**

2．各部の機能を確認する

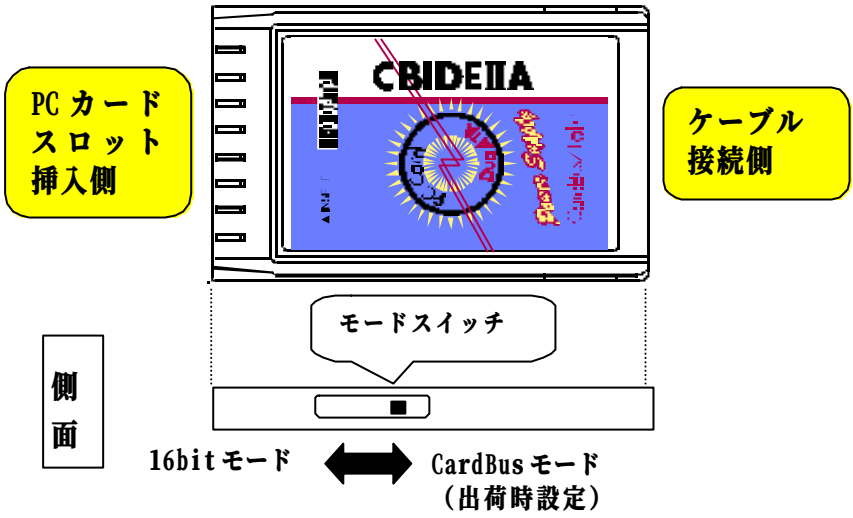
各部の名称および機能の確認を行います。

●DVD-ROMドライブ



名称	説明
①接続コネクタ	添付の接続ケーブルでPCカードと接続します。
②DC IN	添付のACアダプタでAC100Vの家庭用コンセントに接続します。
③パワーランプ	本製品のパワースイッチON時、ACアダプタを接続している場合は緑色に、ACアダプタを接続していない場合は、オレンジ色に点灯します。 OFF時は消灯します。 アクセスの確認については「⑦BUSYランプ」でご確認ください。
④パワースイッチ	本製品の電源をON(左)/OFF(右)します。
⑤LINE OUT	市販のオーディオケーブルでパソコン本体のLINE INに接続するか、アンプ付きスピーカーに接続します。
⑥イジェクトボタン	トレイを出します。
⑦BUSYランプ	ディスクにアクセス時に点滅します。
⑧強制イジェクトホール	イジェクトボタンを押してもトレイが出てこなくなった時に使用します。（【付録 困ったときには】(82ページ)参照)

●PCカード


PC カード
スロット
挿入側
CBIDEIIA
ケーブル
接続側
モードスイッチ
側
面
16bit モード
CardBus モード
（出荷時設定）

3．使うモードを決める

ここでは、本製品添付のPCカードのモードを、環境や用途により設定します。
以下の手順にしたがって、使うモードを決定後、設定してください。

●モードを決める

1 ACアダプタを使用しますか？

●ACアダプタを使用するための電源がない

⇒ 9ページをご覧になり、16bitモードに設定してください。

●ACアダプタを使用するための電源がある

⇒ ***2*** へお進みください。

2 Windows NT 4.0でお使いですか？

●Windows NT 4.0で使う

⇒9ページをご覧になり、16bitモードに設定してください。

●Windows NT 4.0で使わない

⇒ ***3*** へお進みください。

3 お使いの機種はCardBus搭載機種 ※ ですか？

※次ページをご覧になり、お使いの機種がCardBus搭載かをご確認ください。

●CardBus搭載機種でない

⇒ 9ページをご覧になり、16bitモードに設定してください。

●CardBus搭載機種である

⇒CradBusモードで使用できます。10ページへお進みください。

CardBus搭載の確認方法

以下の手順にてご確認ください。

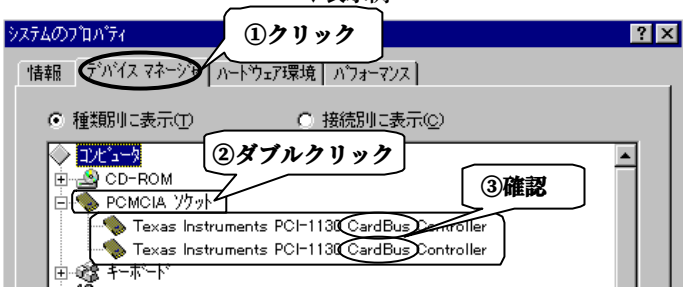
①[マイコンピュータ]アイコンを右クリックし、表示されたメニューから[プロパティ]をクリックします。

②[CradBus]の記述を確認します。

≪Windows Me/98/95 の場合≫

[デバイスマネージャ]タブをクリックし、[PCMCIAソケット]をダブルクリックします。[CradBus]の記述があれば、**CardBus搭載機種です。**

▼表示例



≪Windows 2000 の場合≫

[ハードウェア]タブの[デバイスマネージャ]ボタンをクリックし、[PCMCIAアダプタ]をダブルクリックします。[CradBus]の記述があれば、**CardBus搭載機種です。**

▼表示例



●モードを変更する

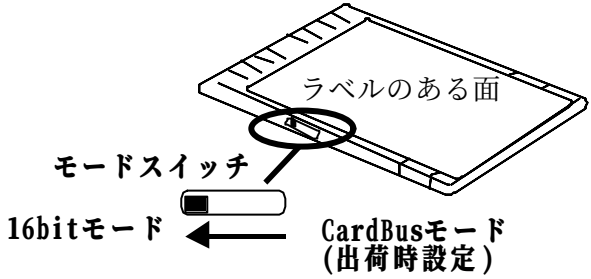
本製品のPCカードは、お買い上げ時CardBusモードに設定されています。

使うモードがCardBusモードの場合は、そのままご使用ください。

使うモードが16bitモードの場合は以下のように設定してください。

≪16bitモードへ変更する≫

PCカード側面にあるスイッチを以下のように変更します。



設定後、次ページへお進みください。



CardBusモード

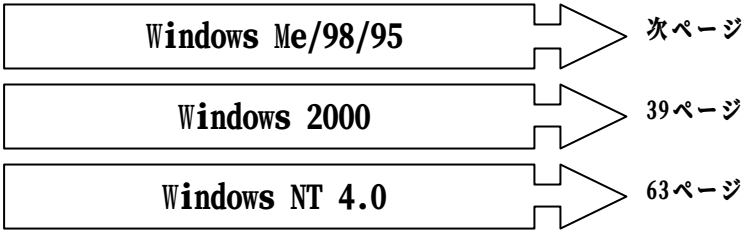
バスマスタ転送方式で32bitデータ高速転送を行います。16bitモードよりも高速です。ただし、パソコンによっては、CardBusモードに設定できない場合があります。Windows NT 4.0はCardBusモードで動作できません。また、他のOSでもACアダプタを使用しない場合はCardBusモードで動作できません。

16bitモード

UltraSMIT転送方式で16bitデータ高速転送を行います。CardBusモードよりも低速です。CardBusモードに対応していないパソコンをお使いの場合に設定してください。16bitモードでは、DVDビデオの再生はできません。

●セットアップしよう

セットアップ方法はOSにより異なります。お使いのOSに合わせて必要なページのみをご覧ください。



Windows Me/98/95で使う

この章では、Windows Me/98/95で本製品をパソコンへ接続する方法について、順を追って説明しています。

1．インストールする

12ページ

本製品を、お使いのパソコンで使用できるようにするため、
サポートソフトをインストールし、PCカードを接続します。

インストール …… 12
インストール後の確認 …… 16

2．基本操作

20ページ

本製品を使用する上でおぼえて欲しいことを説明します。

ディスクの入れ方 …… 20
ディスクの出し方 …… 21
PCカードの入れ方 …… 23
PCカードの出し方 …… 24

3．使ってみよう

29ページ

データを見る方法やDVDビデオを見る方法を説明します。

ディスクのファイルを見る …… 29
DVDビデオを見る …… 30
音楽CDを聴く …… 31

1．インストールする

ここでは、本製品を、お使いのパソコンで使用できるようにするため、サポートソフトをインストールし、PCカードを接続します。

・PCカードのモードを設定しましたか？
⇒していない場合は、7ページで設定を確認してください。

・ここでは、まだPCカードをパソコンに挿入しないでください。

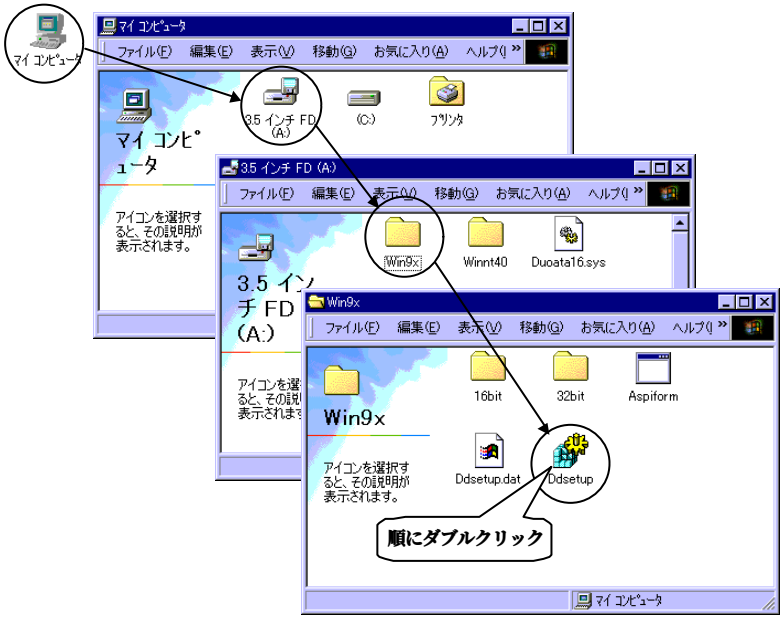
インストール

1 **Windows Me/98/95を起動します。**

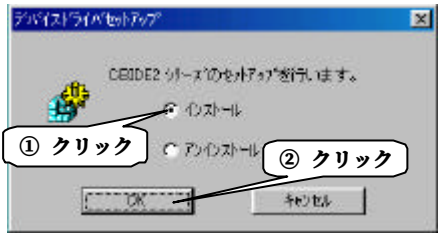
2 **「CBIDEIIシリーズサポートソフト」を挿入します。**

3 **「サポートソフト」内の「Ddsetup」を起動します。**

［マイコンピュータ］→［3.5インチFD］→［Win9x］→［Ddsetup］の順にダブルクリックします。



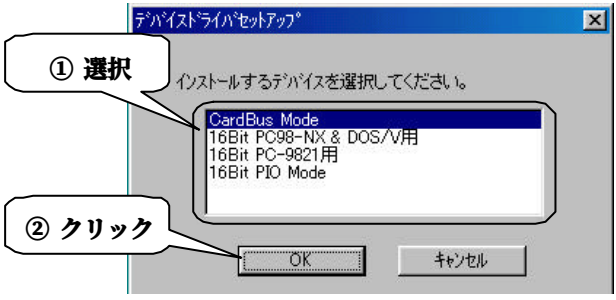
4 「インストール」を選択し、［OK］ボタンをクリックします。



5 インストールするデバイスを選択し、［OK］ボタンをクリックします。

ここでは、【3．使うモードを決める】7ページで設定したPCカードのモードと一致したものを選択してください。

PCカードのモード	選択するデバイス
CardBusモード	[CardBus Mode]
16bitモード	[16Bit PC98-NX & DOS/V用]



はじめてインストールする場合は、[16Bit PIO Mode] を選択する必要はありません。[16Bit PIO Mode] は上記のモードで動作しない場合に選択します。

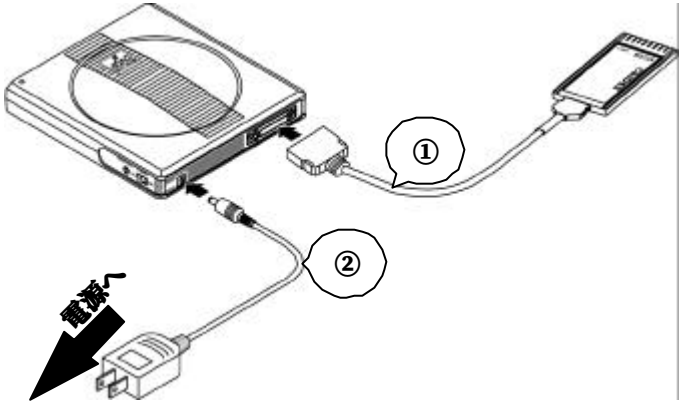
6 ［OK］ボタンをクリックします。



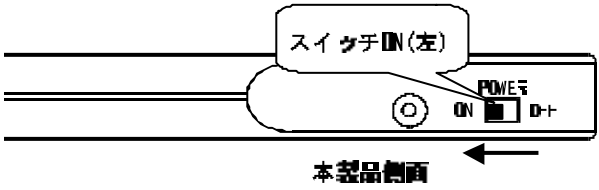
7 本製品にPCカードとACアダプタを接続します。

①本製品とPCカードを添付のケーブルで接続します。

②ACアダプタを使用する場合は、本製品にACアダプタを接続し、電源コンセントに接続します。ACアダプタを使用しない場合は、必要ありません。（詳細は【ACアダプタなしで使う】98ページ参照）



8 本製品の電源を入れます。



9 PCカードをパソコンのPCカードスロットに挿入します。



10 はじめて本製品のPCカードを挿入した場合は、「新しいハードウェア」画面等が表示され、しばらくすると画面は消えます。

「新しいハードウェア」などが表示されたまま消えない場合

［キャンセル］ボタンをクリックします。

インストールしたデバイス(13ページ 手順5)と、PCカードのモードが異なっています。デバイスとPCカードのモードを合わせてください。
デバイスを変える場合は、【ドライバを削除する】(102ページ)をご覧の上、削除した後、再びインストールしてください。

以上で本製品は使用できるようになりました。

次回からインストールする必要はありません。

次に正常にインストールが終了したことを確認するため、次ページへお進みください。

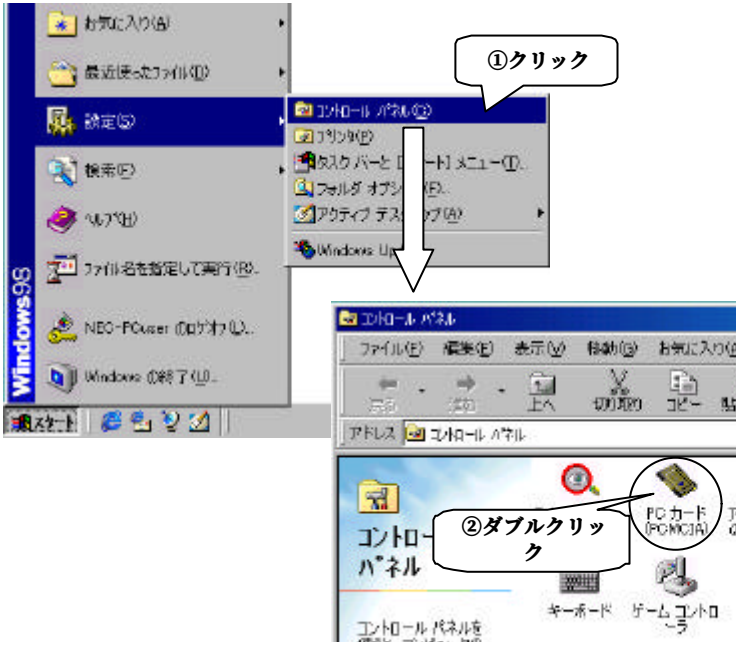
インストール後の確認

本製品をパソコンに接続した状態で確認してください。

●インストールしたサポートソフトを確認する

1 **「PCカード(PCMCIA)のプロパティ」画面を表示させます。**

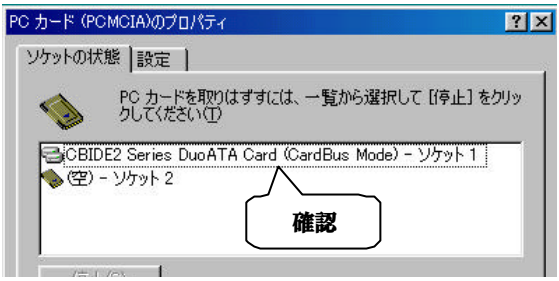
［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］内にある［PCカード］アイコンをダブルクリックします。

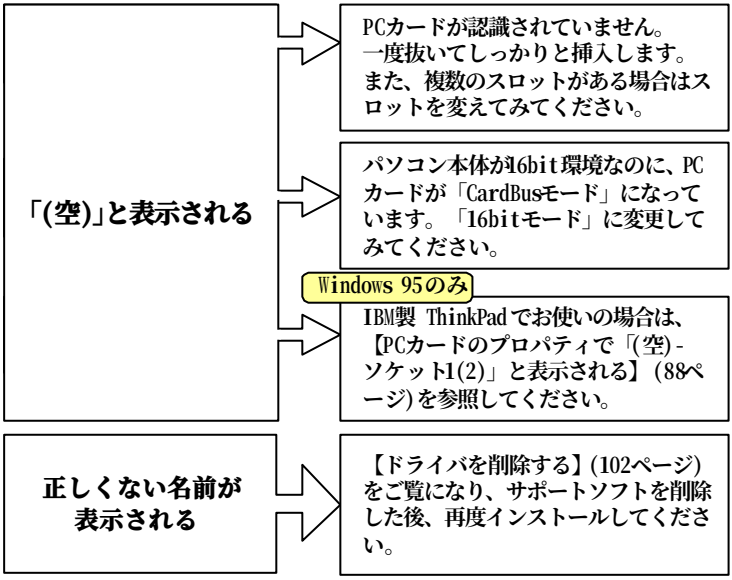


PCカードウィザードが起動した場合 → 画面の指示に従って実行します。その後、もう一度［PCカード］アイコンをダブルクリックします。

2 「CBIDE2 Series DuoATA Card(xxxxxxx)」と表示されていることを確認します。

※ (xxxxxxx)にはPCカードが使用しているモードが入ります。





3 [OK] ボタンをクリックします。

「PCカードのプロパティ」画面を閉じます。

●接続を確認する

1　［マイコンピュータ］をダブルクリックします。

2　［CD-ROMドライブ］アイコンがあることを確認します。

例）DOS/Vマシンの場合



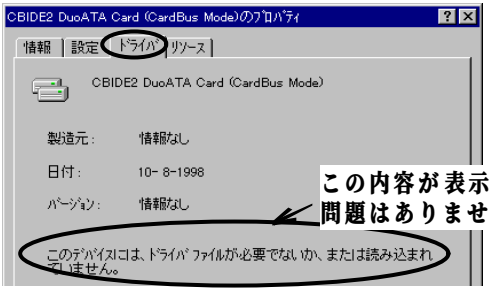
アイコンがない → 【「マイコンピュータ」の中に「CD-ROM」アイコンがない】(85ページ)をご覧ください。

本製品のアイコンが分からない
本製品にディスクをセットします。
［CD-ROMドライブ］アイコンをダブルクリックして、そのディスクの内容が表示されたアイコンが本製品です。

正常に接続されていることを確認できましたら、
【3．基本操作】(20ページ)へお進みください。

Windows 95をお使いの場合

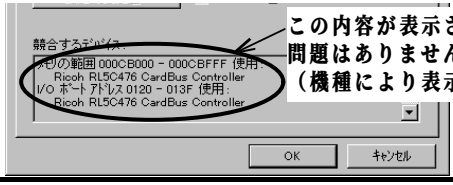
・本製品のPCカードが正常に動作していても「デバイスマネージャ」で以下の画面表示となりますが、特に問題ありません。（CardBusモードでお使いの場合）



・本製品のPCカードが正常に認識されるとデバイスマネージャ」の「その他のデバイス」に「？ PCMCIA カードサービス」が追加される場合があります。
これは正常動作している状態ですので、削除したりしないでください。



・本製品のPCカードを「CardBusモード」で使用する場合は、「競合するデバイス」に「CardBus Controller」が表示されますが、問題ありません。



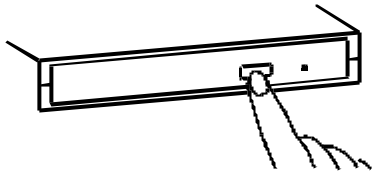
2．基本操作

本製品を使用する上でおぼえてほしいことを説明します。

ディスクの入れ方

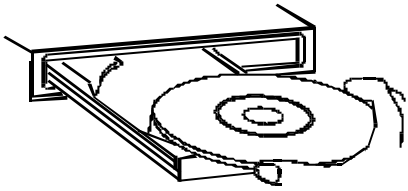
1 イジェクトボタンを押すと、トレイが2㎝程出てきますので、ゆっくりとトレイを引き出します。

無理に引き出すとドライブを損傷させるおそれがあります。
トレイの引き出しは慎重に行ってください。



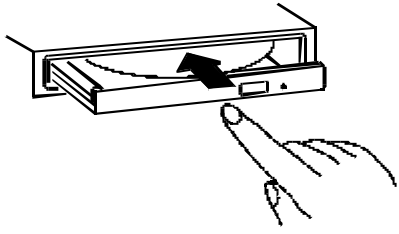
2 ディスクを入れます。

文字などが印刷されているディスク面を上にしてディスクをセットします。両面タイプの場合は再生する方を下面にセットします。
トレイの中心にある軸に、「カチッ」と音がするまでしっかりとディスクをはめ込んでください。



3 トレイを元に戻します。

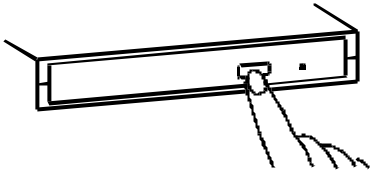
イジェクトボタンに触れないようにトレイ前面を押し、「カチッ」と音がするまでトレイを指で押し込みます。トレイから手を離してもトレイが出てこないことを確認してください。



ディスクの出し方

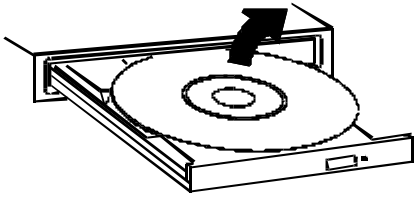
1 イジェクトボタンを押すと、トレイが2㎝程出てきますので、ゆっくりとトレイを引き出します。

無理に引き出すとドライブを損傷させるおそれがあります。
トレイの引き出しは慎重に行ってください。



2 ディスクを出します。

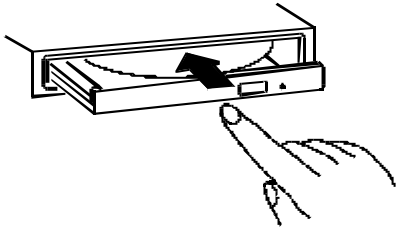
ディスクの回転が完全に止まっていることを確認してからディスクを取り出します。



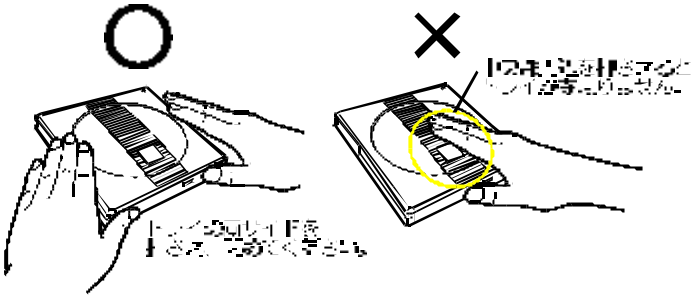
ディスクが取り出せない → **【付録 困ったときには】内の【ディスクが取り出せない】(82ページ)をご覧ください。**

3 トレイを元に戻します。

イジェクトボタンに触れないようにトレイ前面を押し、「カチッ」と音がするまでトレイを指で押し込みます。トレイから手を離してもトレイが出てこないことを確認してください。



トレイを閉める際は、〇のように両サイドを押さえながら閉じてください。
×のように中央部周辺（特に帯状の部分）に力を加えるとトレイが閉まりません。



PCカードの入れ方

本製品に接続したPCカードをパソコンのPCカードスロットに挿入します。

パソコンの電源を入れる前、または入れた後でも挿入できます。



必ず本製品の電源を入れてから、PCカードを挿入してください。

PCカードの出し方

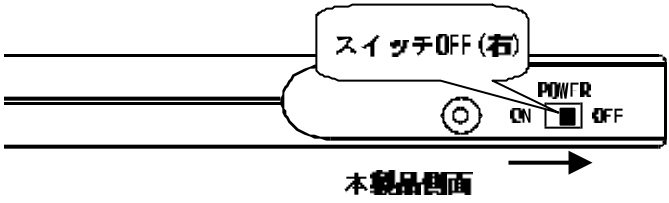
●パソコンの電源が切れた状態のとき

1 本製品のBUSYランプが消えていることを確認します。

2 本製品からディスクを取り出します。

3 PCカードをパソコンから取り外します。

4 本製品の電源を切ります。



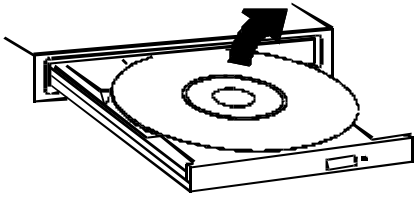
●パソコンの電源が入った状態のとき

Windows Me/98/95を使用中でもPCカードを取り外すことができます。
ただし、必ず終了手順を行ってください。
（【終了手順-その１】または【終了手順-その２】どちらの方法でも取り出すことができます。ただし、終了手順を行わずにPCカードを取り外すと、予期しない障害が発生する可能性があります。）

終了手順－その１

1 イジェクトボタンを押して、ディスクを取り出します。

ディスクの回転が完全に止まっていることを確認してからディスクを取り出します。



2 タスクバー上からCBIDE2の中止を選択します。

タスクバー上の(PCカード)アイコンをクリックします。表示された「CBIDE2 Series DuoATA Card（XXXXX）の中止」をクリックします。図（※）のアイコンの場合は、表示が異なります。



3 ［OK］ボタンをクリックします。

手順 **2** の図内「※」のアイコンの場合は、表示が異なります。



「取り外しができません。」という旨のエラーメッセージが表示された

→ 使用中のアプリケーションを全て終了した後に、もう一度本手順を行います。

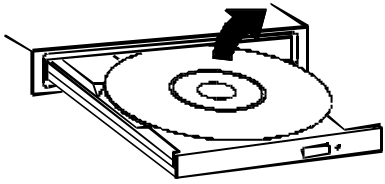
↓ それでもエラーとなる場合は、Windowsを終了しパソコンの電源を切ってから取り外してください。

4 PCカードをPCカードスロットから取り外します。

終了手順―その２

1 イジェクトボタンを押して、ディスクを取り出します。

ディスクの回転が完全に止まっていることを確認してからディスクを取り出します。



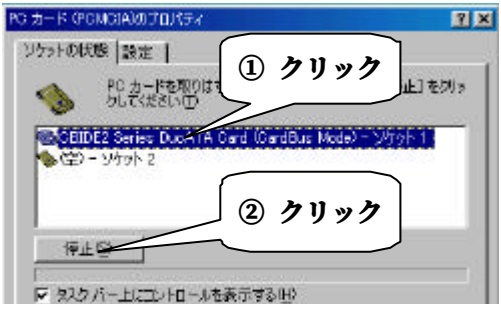
2 「PCカード(PCMCIA)のプロパティ」画面を表示させます。

［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］内にある［PCカード］アイコンをダブルクリックします。

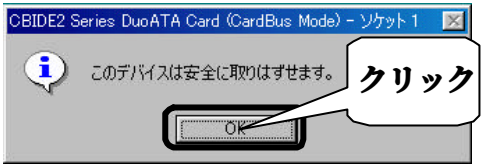


3 [PCカード(PCMCIA)のプロパティ]画面上からCBIDE2の中止を選択します。

「CBIDE2 Series DuoATA Card（XXXXX）」をクリックし、［停止］（または［終了］）ボタンをクリックします。



4　[OK] ボタンをクリックします。



「取り外しができません。」という旨のエラーメッセージが表示された

使用中のアプリケーションを全て終了した後に、もう一度本手順を行います。

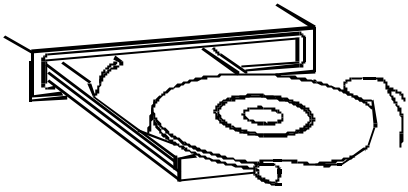
それでもエラーとなる場合は、Windowsを終了しパソコンの電源を切ってから取り外してください。

5　PCカードをPCカードスロットから取り外します。

3．使ってみよう

ディスクのファイルを見る

1 本製品にディスクを入れます。



2 [マイコンピュータ]や[エクスプローラ]から見ることができます。

DVDビデオを見る

ソフトウェアデコーダが必要です。
PC98-NXシリーズおよびDOS/Vマシンをお使いの場合は、添付の
PowerDVD VR-Xをご使用ください。
ただし、本製品のPCカードはCardBusモード時のみ使用可能です。



16bit モードでは、DVD ビデオの再生はできません。コマ落ちが発生します。

●PowerDVD VR-Xのインストール方法

別冊の「PowerDVD VR-Xクイックガイド」をご覧ください。インストール中にCD-Key番号を要求されたら、「PowerDVD VR-Xクイックガイド」内の【PowerDVD VR-Xのインストール】に記載されている番号を入力してください。



《PowerDVD　VR-Xの詳細について》
PowerDVD VR-Xの詳細については、ヘルプまたはオンラインマニュアルをご覧ください。
オンラインマニュアルはPDFファイルとなっていますので、CD-ROM内に収録されている「Adobe Acrobat Reader」をインストールした上でお読みください。

●オンラインマニュアルの収録場所
添付CD-ROMの[Manual.pdf]

●「Adobe Acrobat Reader」の収録場所
添付CD-ROMの[Acrobatreader]→[ar405jpn.exe]

《削除（アンインストール）方法》
PowerDVD VR-Xを使用しなくなった場合に行ってください。
[スタート]→[プログラム]→[CyberLink PowerDVD]→[PowerDVDのアンインストール]からアンインストールを行ってください。

音楽CDを聴く

音楽CDを聞くには、オーディオケーブルまたはアンプ付きスピーカーが必要になります。

・Windows 95の場合

【パソコンまたはアンプ付きスピーカーで聞く】(次ページ)へお進みください。

・Windows Me/98の場合

パソコン本体がデジタルオーディオ機能に対応していればパソコン本体のスピーカーから音楽CDを聞くこともできます。（その際、オーディオケーブルおよびアンプ付きスピーカーは必要ありません。）

まずはお使いのパソコンがデジタルオーディオ機能に対応しているか確認しましょう。

(33ページ以降の【デジタルオーディオ機能対応の確認/設定】へお進みください。)

●パソコンまたはアンプ付きスピーカーで聞く

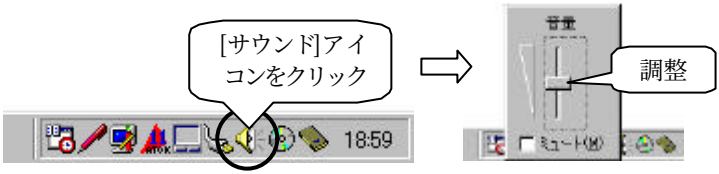
方法―その1

市販のオーディオケーブルで本製品の「LINE OUT」端子とパソコンの「LINE IN」を接続すれば、パソコンの内蔵スピーカーで音楽CDを聞くことができます。

コラム

音量の調節

音量は、デスクトップ画面右下のタスクトレイ内の［サウンド］アイコンをクリックして表示されるボリュームを使って調整してください。



方法―その2

本製品の「LINE OUT」端子にアンプ付きスピーカーを接続すれば、聞くことができます。

注意

・本製品に接続するスピーカーは必ずアンプ付きのものをご使用ください。アンプ付きでない場合、音量が小さくて聞こえません。
・本製品にボリューム機能はありません。ボリューム付きのスピーカーでボリュームを調整してください。

●デジタルオーディオ機能対応の確認/設定

Windows Meの場合

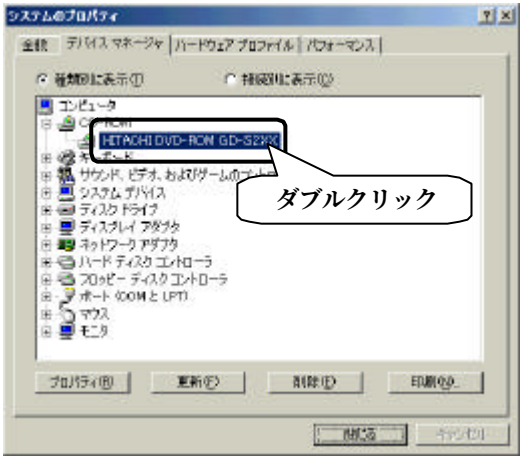
1 本製品をパソコンに接続します。

2 [システムのプロパティ]画面を表示させます。

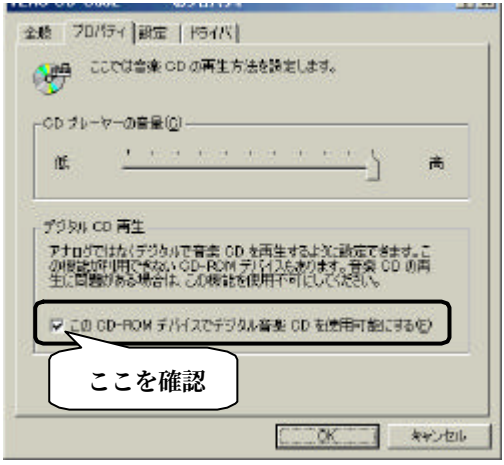
[マイコンピュータ]を右クリックして、[プロパティ]をクリックします。

3 本製品のプロパティを表示させます。

[デバイスマネージャ]タブをクリックし、[CD-ROM]の下の
[HITACHI DVD-ROM GD-S2XX] (XXはバージョンにより変わります。)
をダブルクリックします。



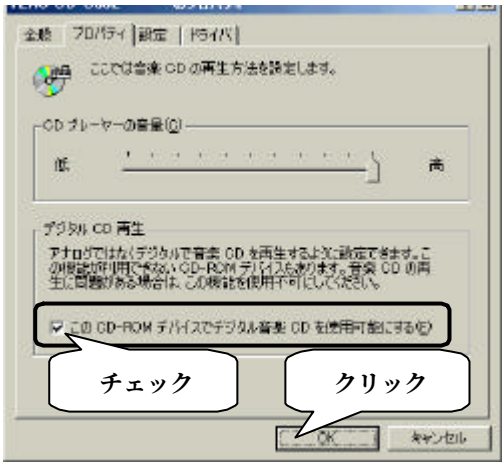
4 [プロパティ]タブをクリックし、「このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする」という表示があるかどうかを確認します。



表示が無い場合（表示が薄い(グレーの)場合） → **お使いのパソコンがデジタルオーディオ機能に対応していません。【パソコンまたはアンプ付きスピーカーで聞く】(32ページ)へお進みください。**

表示がある場合 → **デジタルオーディオ機能を使用できます。次ページへお進みください。**

5 「このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする」をチェックし、［OK］ボタンをクリックします。



- デジタルオーディオ機能で音楽CDを再生する場合、ハードディスクのアクセス中など、パソコンの動作状況によっては雑音が聞こえることがあります。
- デジタルオーディオ再生機能を使用する場合、本製品のLINE OUT端子からは音声は出力されません。

Windows 98の場合

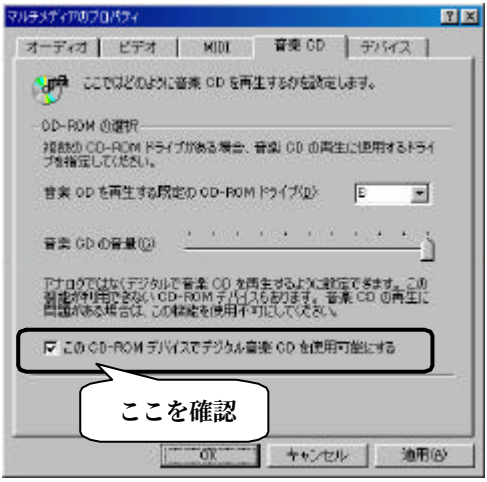
1 本製品をパソコンに接続します。

2 [マルチメディアのプロパティ]画面を表示させます。

［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］内にある［マルチメディア］アイコンをダブルクリックします。

3 「音楽CD」タブをクリックします。

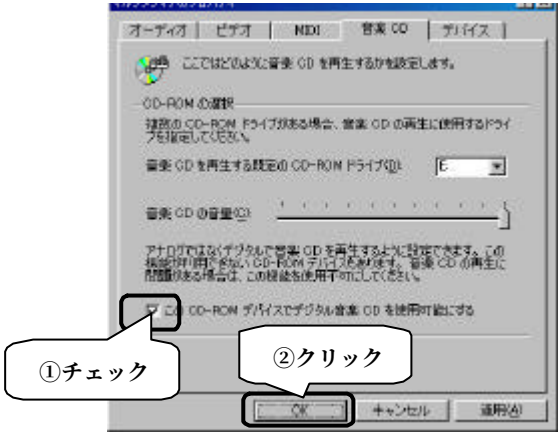
4 「このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする」という表示があるかどうかを確認します。



表示が無い場合（表示が薄い(グレーの)場合） → **お使いのパソコンがデジタルオーディオ機能に対応していません。【パソコンまたはアンプ付きスピーカーで聞く】(32ページ)へお進みください。**

表示がある場合 → **デジタルオーディオ機能を使用できます。次ページへお進みください。**

「このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする」をチェックし、［OK］ボタンをクリックします。



以上で設定終了です。

- **デジタルオーディオ機能で音楽CDを再生する場合、ハードディスクのアクセス中など、パソコンの動作状況によっては雑音が聞こえることがあります。**
- **デジタルオーディオ再生機能を使用する場合、本製品のLINE OUT端子からは音声は出力されません。**

MEMO

Windows 2000で使う

この章では、Windows 2000で本製品をパソコンへ接続する方法について、順を追って説明しています。

1．インストールする

40ページ

本製品を、お使いのパソコンで使用できるようにするため、サポートソフトをインストールします。

インストール …… **40**
インストール後の確認 …… **46**

2．基本操作

48ページ

本製品を使用する上でおぼえて欲しいことを説明します。

ディスクの入れ方 …… **48**
ディスクの出し方 …… **49**
PCカードの入れ方 …… **51**
PCカードの出し方 …… **52**

3．使ってみよう

56ページ

データを見る方法やDVDビデオを見る方法を説明します。

ディスクのファイルを見る …… **56**
DVDビデオを見る …… **57**
音楽CDを聴く …… **58**

1．インストールする

ここでは、本製品を、お使いのパソコンで使用できるようにするため、サポートソフトをインストールします。

・PCカードのモードを設定しましたか？
⇒していない場合は、7ページで設定を確認してください。

・ここでは、まだPCカードをパソコンに挿入しないでください。

インストール

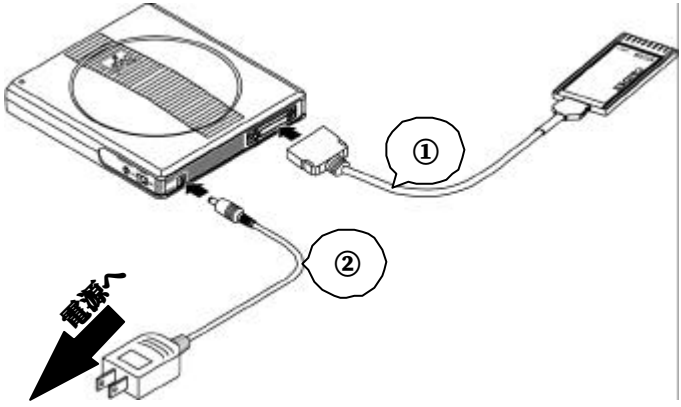
1 Windows 2000を起動します。

2 「CBIDEIIシリーズサポートソフト」を挿入します。

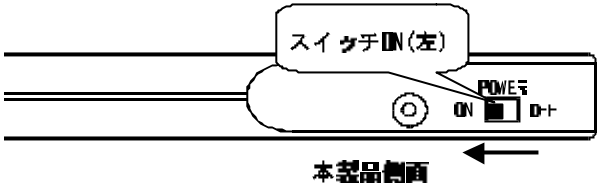
3 本製品にPCカードとACアダプタを接続します。

①本製品とPCカードを添付のケーブルで接続します。

②ACアダプタを使用する場合は、本製品にACアダプタを接続し、電源コンセントに接続します。ACアダプタを使用しない場合は、必要ありません。（詳細は【ACアダプタなしで使う】98ページ参照）



4 本製品の電源を入れます。

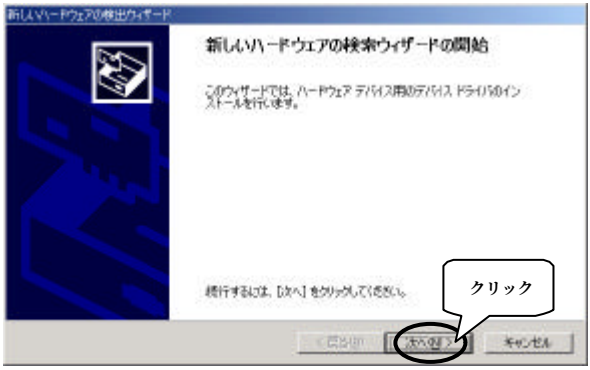


5 PCカードをパソコンのPCカードスロットに挿入します。



6 ［次へ］ボタンをクリックします。

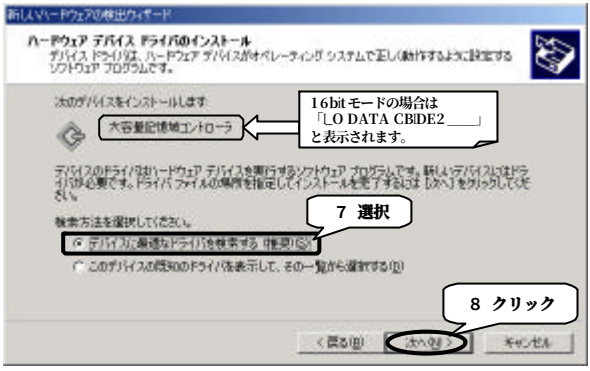
画面が表示されますので、［次へ］ボタンをクリックします。



7 「デバイスに最適なドライバを検索する」を選択します。

8 ［次へ］ボタンをクリックします。

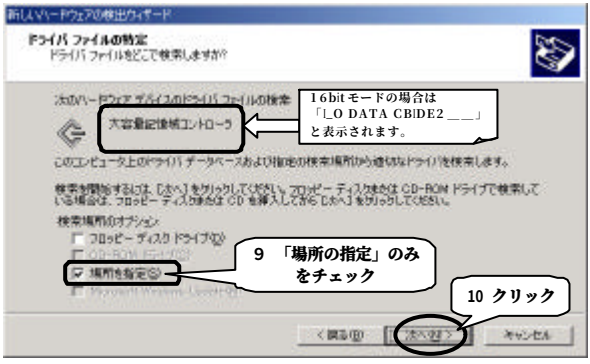
▼「CardBusモード」の場合



9 「場所を指定」のみにクリックしてチェックを付け、他のチェックを外します。

10 ［次へ］ボタンをクリックします。

▼「CardBusモード」の場合

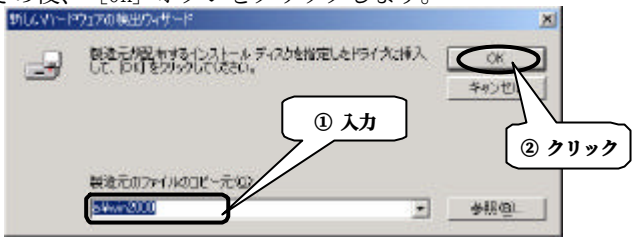


11 「win2000」フォルダを指定し、［OK］ボタンをクリックします。

サポートソフト内の「win2000」フォルダを指定します。

例）　a;\win2000　（フロッピーディスクドライブがAの場合）

その後、［OK］ボタンをクリックします。



12 表示を確認し、［次へ］ボタンをクリックします。

表示は以下のようになります。

※②はフロッピーディスクドライブがAの場合

CBIDE Ⅱ（CardBus Mode）の場合

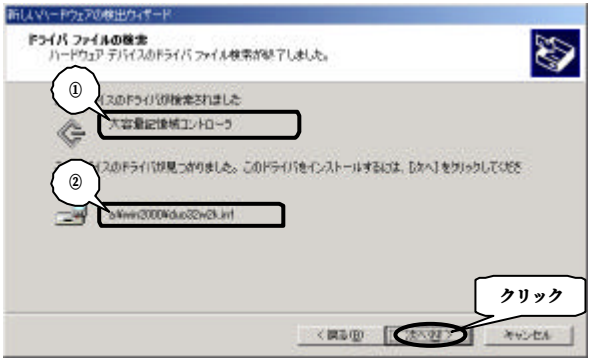
①「大容量記憶域コントローラ」 or
「CBIDE2 Series DuoATA Card(CardBus Mode)」

②「a:\win2000\duo32w2k.inf」

CBIDE Ⅱ（16Bit Mode）の場合

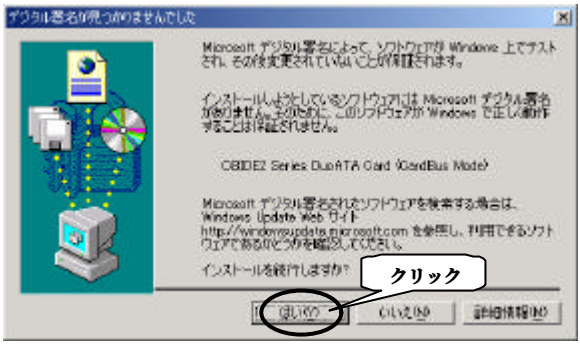
①「IO_DATA CBIDE2__」 or 「CBIDE2 Series DuoATA Card(16Bit Mode)」

②「a:\win2000\duo16w2k.inf」

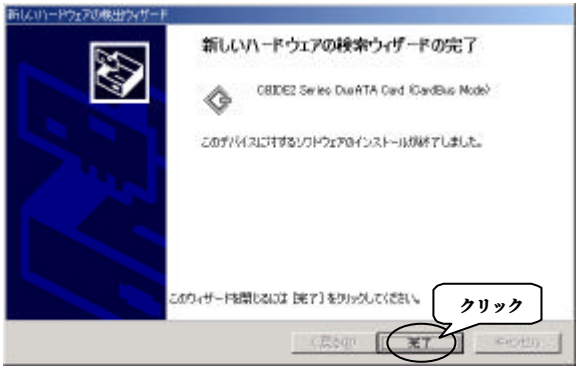


13 ［はい］ボタンをクリックします。

「デジタル署名が見つかりませんでした」の画面が表示されますが、［はい］ボタンをクリックします。



14 ［完了］ボタンをクリックします。



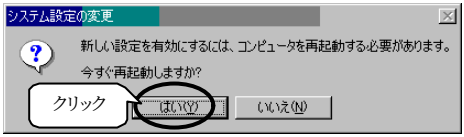
15 サポートソフトを取り出します。

サポートソフトをフロッピーディスクドライブから取り出します。

16 以下の画面が表示された場合は、［はい］ボタンをクリックします。

Windows 2000が再起動されます。

以下の画面が表示されない場合はそのまま使用できます。



CardBusモードで使用時の注意

PCカードを、インストール時に接続していたスロットと別のスロットに接続した場合は、以下の手順にしたがってください。

① 手順 13 の画面が表示されますので、
このスロットで使用する場合は［はい］ボタンをクリックします。
このスロットでご使用にならない場合は［いいえ］ボタンをクリックします。（［いいえ］ボタンをクリックした場合は、インストール時に接続していたスロットにPCカードを接続してご使用ください。）

② フロッピーディスクドライブにCBIDE IIシリーズサポートソフトを挿入します。

③ 以下の画面で「 a:\win2000 」と入力して［OK］ボタンをクリックします。

▼フロッピーディスクドライブがAドライブの場合



以上で本製品は使用できるようになりました。

次回からインストールする必要はありません。

次に正常にインストールが終了したことを確認するため、次ページへお進みください。

インストール後の確認

本製品をパソコンに接続した状態で確認してください。

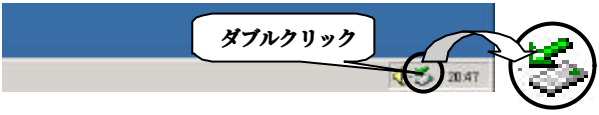
●インストールしたサポートソフトを確認する

1 タスクトレイにPCカードアイコンがあることを確認します。

右下のタスクトレイにPCカードのアイコンがあることを確認します。

2 タスクトレイのPCカードアイコンをダブルクリックします。

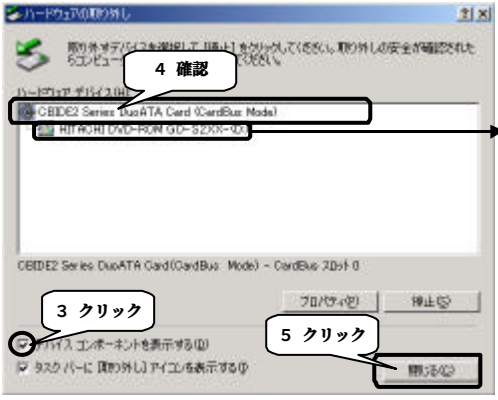
「ハードウェアの取り外し」が開きます。



3 「デバイスコンポーネントを表示する」にチェックが入ってない場合は、クリックしてチェックします。

4 PCカードが正常に認識されていることを確認します。

「CBIDE2 Series DuoATA Card(xxxxx)」と表示されていることを確認します。　※ (xxxxx)にはPCカードが使用しているモードが入ります。



「HITACHI DVD-ROM GD-S2XX」という記述がない場合は、以下の手順にしたがってください。
(XXはバージョンにより変わります。)
①Windowsを終了し、パソコンの電源を切ります。
②本製品の電源を切ります。
③PCカードを抜き、PCカード側と本製品側のケーブルを抜き差しします。
④PCカードをパソコンに装着します。
⑤本製品の電源を入れます。
⑥パソコンの電源を入れます。

5 ［閉じる］ボタンをクリックします。

6 ［マイコンピュータ］をダブルクリックします。

7 **[CD-ROM]アイコンが追加されていることを確認します。**

本製品に任意のCD-ROMディスクを挿入し、表示が変わったアイコンが本製品のアイコンです。

▼DOS/Vマシンの場合



ドライブアイコンが表示されていない場合

以下の手順にしたがってください。
①Windowsを終了し、パソコンの電源を切ります。
②本製品の電源を切ります。
③PCカードを抜き、PCカード側と本製品側のケーブルを抜き差しします。
④PCカードをパソコンに装着します。
⑤本製品の電源を入れます。
⑥パソコンの電源を入れます。

問題がなければ、次ページへお進みください。

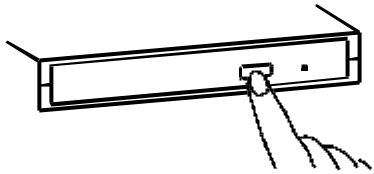
2．基本操作

本製品を使用する上でおぼえてほしいことを説明します。

ディスクの入れ方

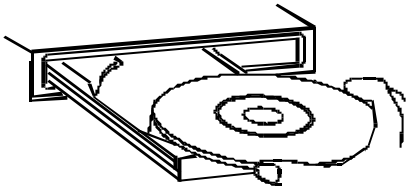
1 イジェクトボタンを押すと、トレイが2㎝程出てきますので、ゆっくりとトレイを引き出します。

無理に引き出すとドライブを損傷させるおそれがあります。
トレイの引き出しは慎重に行ってください。



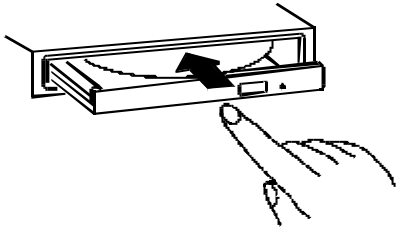
2 ディスクを入れます。

文字などが印刷されているディスク面を上にしてディスクをセットします。両面タイプの場合は再生する方を下面にセットします。
トレイの中心にある軸に、「カチッ」と音がするまでしっかりとディスクをはめ込んでください。



3 トレイを元に戻します。

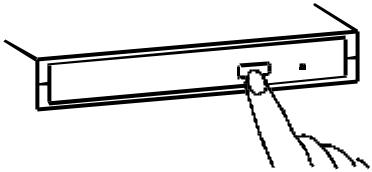
イジェクトボタンに触れないようにトレイ前面を押し、「カチッ」と音がするまでトレイを指で押し込みます。トレイから手を離してもトレイが出てこないことを確認してください。



ディスクの出し方

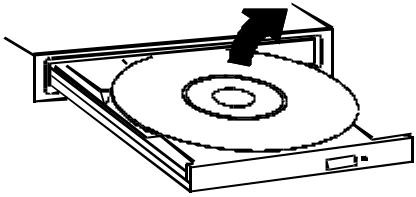
1 イジェクトボタンを押すと、トレイが2㎝程出てきますので、ゆっくりとトレイを引き出します。

無理に引き出すとドライブを損傷させるおそれがあります。
トレイの引き出しは慎重に行ってください。



2 ディスクを出します。

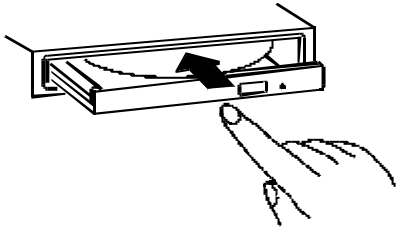
ディスクの回転が完全に止まっていることを確認してからディスクを取り出します。



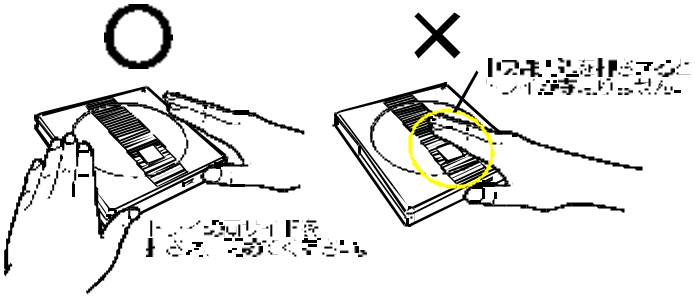
ディスクが取り出せない → **【付録 困ったときには】内の【ディスクが取り出せない】(82ページ)をご覧ください。**

3 トレイを元に戻します。

イジェクトボタンに触れないようにトレイ前面を押し、「カチッ」と音がするまでトレイを指で押し込みます。トレイから手を離してもトレイが出てこないことを確認してください。



トレイを閉める際は、〇のように両サイドを押さえながら閉じてください。
×のように中央部周辺（特に帯状の部分）に力を加えるとトレイが閉まりません。



PCカードの入れ方

本製品に接続したPCカードをパソコンのPCカードスロットに挿入します。

パソコンの電源を入れる前、または入れた後でも挿入できます。



必ず本製品の電源を入れてから、PCカードを挿入してください。

PCカードの出し方

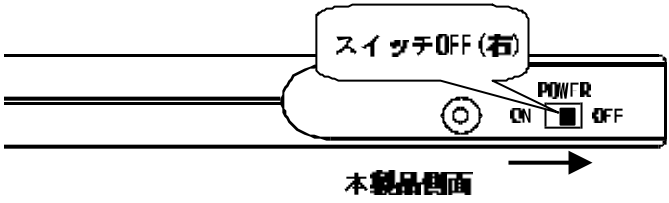
●パソコンの電源が切れた状態のとき

1 本製品のBUSYランプが消えていることを確認します。

2 本製品からディスクを取り出します。

3 PCカードをパソコンから取り外します。

4 本製品の電源を切ります。



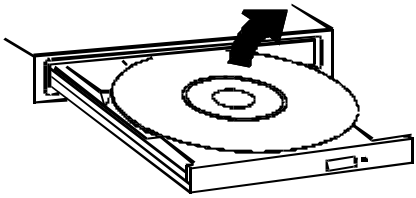
●パソコンの電源が入った状態のとき

Windows 2000を使用中でもPCカードを取り外すことができます。
ただし、必ず終了手順を行ってください。
（【終了手順-その１】または【終了手順-その２】どちらの方法でも取り出すことができます。ただし、終了手順を行わずにPCカードを取り外すと、予期しない障害が発生する可能性があります。）

終了手順－その１

1 イジェクトボタンを押して、ディスクを取り出してください。

ディスクの回転が完全に止まっていることを確認してからディスクを取り出します。



2 タスクトレイのPCカードアイコンをクリックします。



3 「CBIDE2 Series DuoATA……の中止」をクリックします。

タスクバーのPCカードアイコンをクリックします。表示された［CBIDE2 Series DuoATA Card（XXXXX）の中止］をクリックします。



4 ［OK］ボタンをクリックします。

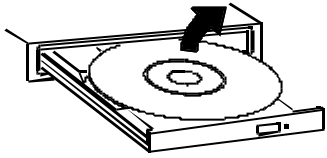


5 PCカードをPCカードスロットから取り外します。

終了手順―その２

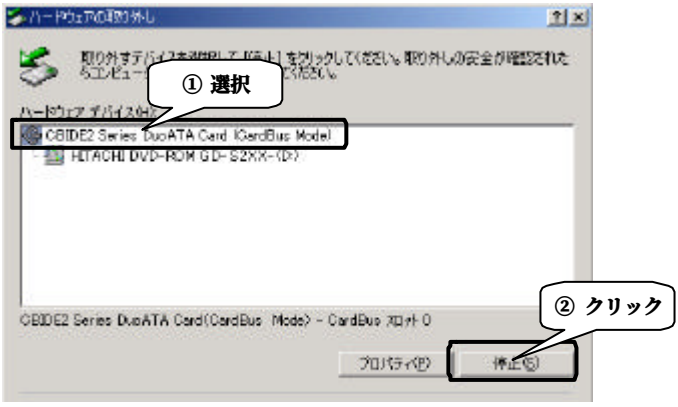
1 イジェクトボタンを押して、ディスクを取り出してください。

ディスクの回転が完全に止まっていることを確認してからディスクを取り出します。



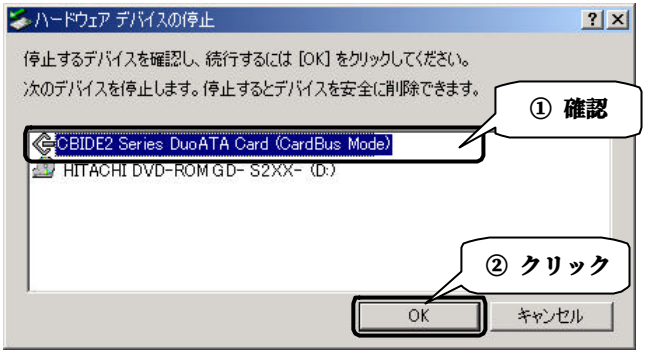
2 タスクトレイのPCカードアイコンをダブルクリックします。

3 本製品を選択し、［停止］ボタンをクリックします。



4 本製品を確認して、［OK］ボタンをクリックします。

「CBIDE2 Series DuoATA Card（xxxx）」が表示されていることを確認し、
［OK］ボタンをクリックします。



5 ［OK］ボタンをクリックします。

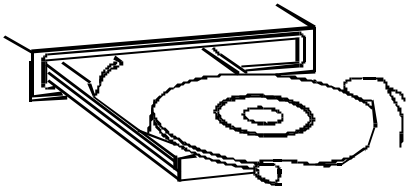


6 PCカードをPCカードスロットから取り外します。

3．使ってみよう

ディスクのファイルを見る

1 本製品にディスクを入れます。



2 [マイコンピュータ]や[エクスプローラ]から見ることができます。

DVDビデオを見る

ソフトウェアデコーダが必要です。
PC98-NXシリーズおよびDOS/Vマシンをお使いの場合は、添付の
PowerDVD VR-Xをご使用ください。
ただし、本製品のPCカードはCardBusモード時のみ使用可能です。



16bitモードでは、DVDビデオの再生はできません。コマ落ちが発生します。

●PowerDVD VR-Xのインストール方法

別冊の「PowerDVD VR-Xクイックガイド」をご覧ください。インストール中にCD-Key番号を要求されたら、「PowerDVD VR-Xクイックガイド」内の【PowerDVD VR-Xのインストール】に記載されている番号を入力してください。



《PowerDVD VR-Xの詳細について》
PowerDVD VR-Xの詳細については、ヘルプまたはオンラインマニュアルをご覧ください。
オンラインマニュアルはPDFファイルとなっていますので、CD-ROM内に収録されている「Adobe Acrobat Reader」をインストールした上でお読みください。

●オンラインマニュアルの収録場所
添付CD-ROMの[POWERDVD]→[Manual.pdf]

●「Adobe Acrobat Reader」の収録場所
添付CD-ROM：[POWERDVD]→[Acrobatreader]→[ar405jpn.exe]

《削除（アンインストール）方法》
PowerDVD VR-Xを使用しなくなった場合に行ってください。
[スタート]→[プログラム]→[CyberLink PowerDVD]→[PowerDVDのアンインストール]からアンインストールを行ってください。

音楽CDを聴く

音楽CDを聞くには、オーディオケーブルまたはアンプ付きスピーカーが必要になります。

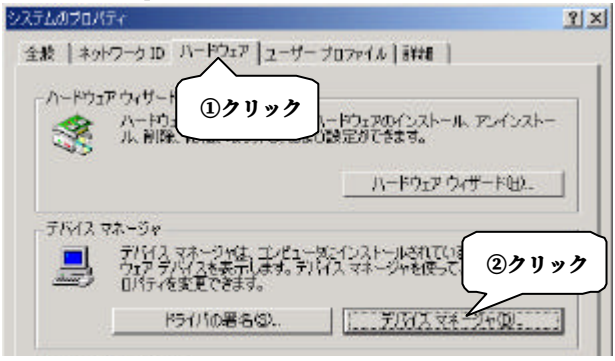
パソコン本体がデジタルオーディオ機能に対応していればパソコン本体のスピーカーから音楽CDを聞くこともできます。（その際、オーディオケーブルおよびアンプ付きスピーカーは必要ありません。）
まずはお使いのパソコンがデジタルオーディオ機能に対応しているか確認しましょう。

●デジタルオーディオ機能対応の確認/設定

1 本製品をパソコンに接続します。

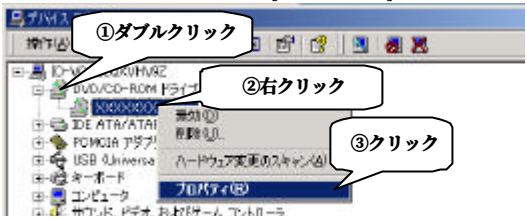
2 [デバイスマネージャ]画面を表示させます。

［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］内にある［システム］アイコンをダブルクリックし、［ハードウェア］タブをクリックし、[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。

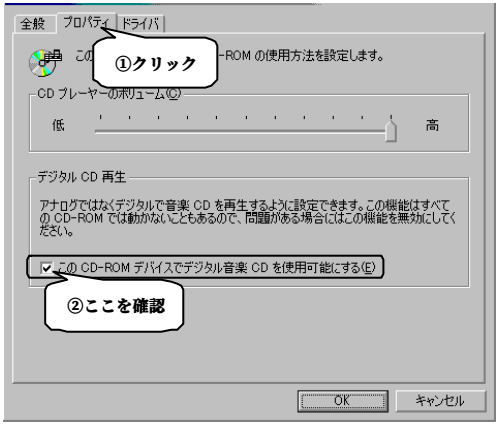


3 接続したドライブのプロパティを開きます。

[DVD/CD-ROMドライブ]をダブルクリックして、接続したドライブを右クリックし、表示されたメニューから[プロパティ]をクリックします。



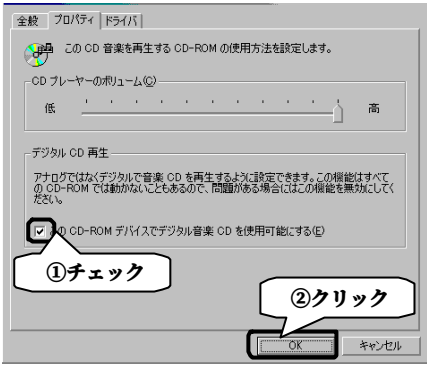
4 [プロパティ]タブをクリックし、「このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする」という表示があるかどうかを確認します。



表示が無い場合（表示が薄い(グレーの)場合） → **お使いのパソコンがデジタルオーディオ機能に対応していません。【パソコンまたはアンプ付きスピーカーで聞く】(61ページ)へお進みください。**

表示がある場合 → **デジタルオーディオ機能を使用できます。次ページへお進みください。**

「このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする」をチェックし、［OK］ボタンをクリックします。



以上で設定終了です。

・デジタルオーディオ機能で音楽CDを再生する場合、ハードディスクのアクセス中など、パソコンの動作状況によっては雑音が聞こえることがあります。
・デジタルオーディオ再生機能を使用する場合、本製品のLINE OUT端子からは音声は出力されません。

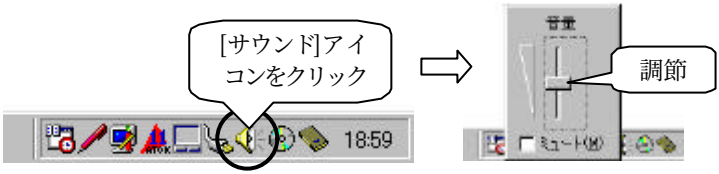
●パソコンまたはアンプ付きスピーカーで聞く

方法―その1

市販のオーディオケーブルで本製品の「LINE OUT」端子とパソコンの「LINE IN」を接続すれば、パソコンの内蔵スピーカーで音楽CDを聞くことができます。

音量の調節

音量は、デスクトップ画面右下のタスクトレイ内の［サウンド］アイコンをクリックして表示されるボリュームを使って調節してください。



方法―その2

本製品の「LINE OUT」端子にアンプ付きスピーカーを接続すれば、聞くことができます。

・本製品に接続するスピーカーは必ずアンプ付きのものをご使用ください。アンプ付きでない場合、音量が小さくて聞こえません。
・本製品にボリューム機能はありません。ボリューム付きのスピーカーでボリュームを調整してください。

MEMO

Windows NT 4.0で使う

この章では、Windows NT 4.0で本製品をパソコンへ接続する前の準備について、順を追って説明しています。

1．インストールする

６４ページ

本製品を、お使いのパソコンで使用できるようにするため、サポートソフトをインストールします。

インストール …… **６４**
インストール後の確認 …… **６８**

2．基本操作

７２ページ

本製品を使用する上でおぼえて欲しいことを説明します。

ディスクの入れ方 …… **７２**
ディスクの出し方 …… **７３**
PCカードの入れ方 …… **７５**
PCカードの出し方 …… **７６**

3．使ってみよう

７７ページ

データを見る方法などを説明します。

ディスクのファイルを見る …… **７７**
音楽CDを聴く …… **７８**

1．インストールする

ここでは、本製品を、お使いのパソコンで使用できるようにするため、サポートソフトをインストールします。

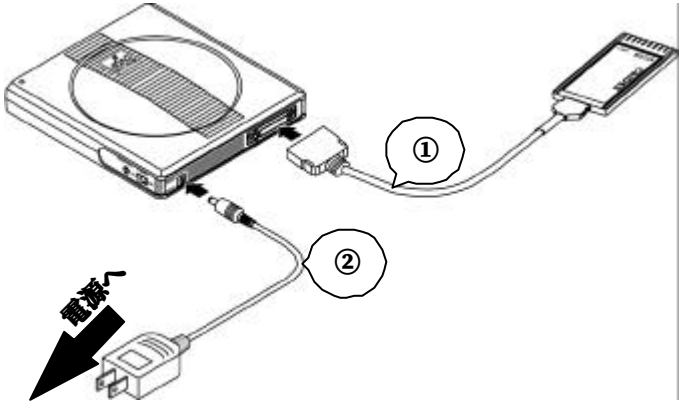
・PCカードのモードを16bitモードに設定しましたか？
⇒していない場合は、9ページで設定してください。
※Windows NT 4.0は、PCカードのCardBusモードに対応しておりません。
※Windows NT.4.0ではDVDビデオの再生はできません。（コマ落ちするため）

・ここでは、パソコンの電源を入れないでください。

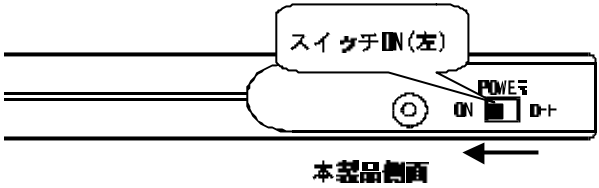
インストール

1 本製品にPCカードとACアダプタを接続します。

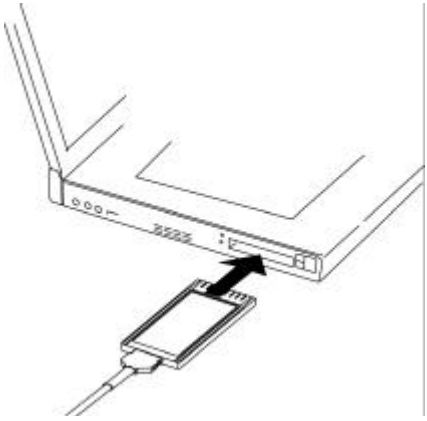
①本製品とPCカードを添付のケーブルで接続します。
②ACアダプタを使用する場合は、本製品にACアダプタを接続し、電源コンセントに接続します。ACアダプタを使用しない場合は、必要ありません。（詳細は【ACアダプタなしで使う】98ページ参照）



2 本製品の電源を入れます。



3 PCカードをパソコンのPCカードスロットに挿入します。



4 Windows NT 4.0を起動します。

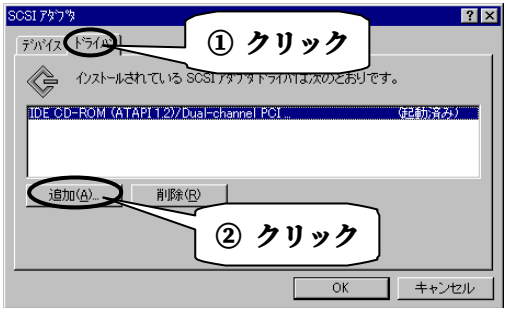
Administrator権限のあるユーザーでログインしてください。

5 「CBIDEIIシリーズサポートソフト」を挿入します。

6 ［SCSIアダプタ］画面を表示させます。

［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］内の［SCSIアダプタ］アイコンをダブルクリックします。

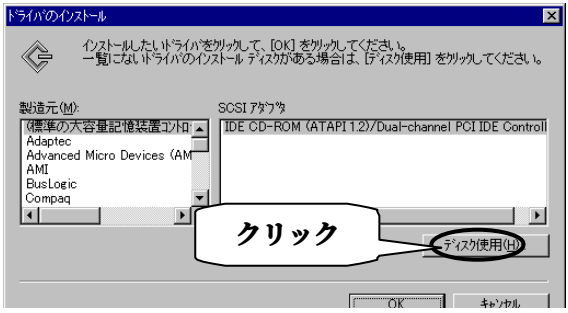
7 ［ドライバ］タブ内にある［追加］ボタンをクリックします。



「追加」ボタンをクリックできない

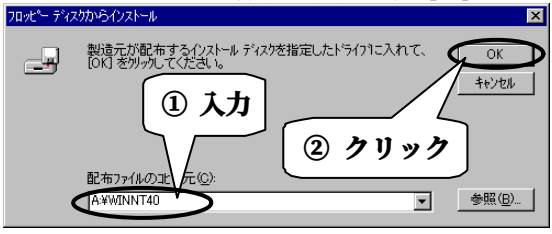
インストールの際は、Administrater 権限のあるユーザーでログインしてください。

8 ［ディスク使用］ボタンをクリックします。



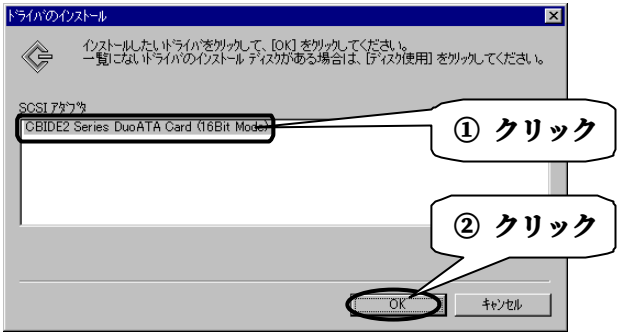
9 「WINNT40」フォルダを入力します。

「配布ファイルのコピー元」に「A:\WINNT40」（フロッピーディスクドライブがAの場合）と入力し、［OK］ボタンをクリックします。



10 本製品を選択します。

［CBIDE2 Series DuoATA Card(16Bit Mode)］をクリックし、［OK］ボタンをクリックします。

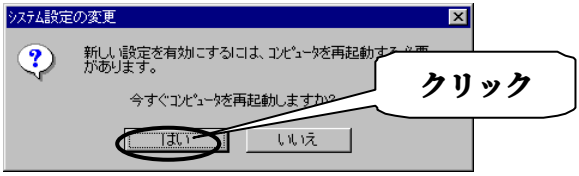


¥

11 インストール終了後に「CBIDEⅡシリーズサポートソフト」を抜きます。

12 ［はい］ボタンをクリックします。

⇒パソコンが再起動されます。



以上で本製品は使用できるようになりました。

次回からインストールする必要はありません。

次に正常にインストールが終了したことを確認するため、次ページへお進みください。

インストール後の確認

本製品をパソコンに接続した状態で確認してください。

●インストールしたサポートソフトを確認する

1 **［SCSIアダプタ］画面を表示させます。**

［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］内の［SCSIアダプタ］アイコンをダブルクリックします。

2 **「CBIDE2 Series DuoATA Card(16Bit Mode)」と表示されていることを確認します。**

表示されていない → PCカードの接続を確認してください。

3 **「CBIDE2 Series DuoATA Card(16Bit Mode)」をダブルクリックします。**

4 **DVD-ROMドライブがあることを確認します。**

「HITACHI DVD-ROM GD-S2XX」と表示されていることを確認します。
(XXはバージョンにより変わります。)



表示されていない →
①ケーブルの接続とドライブの電源が入っていることをご確認ください。
②【リソースの競合を回避する】次ページをご覧ください。

●リソースの競合を回避する

①パソコン本体のIRQやI/Oポートに空きがあることをご確認ください。
（方法についてはパソコン本体の取扱説明書をご覧いただくか、パソコン本体メーカーにお問い合わせください。）

②Windows NT 4.0において、万が一リソースの競合が発生した場合、
添付の「RESEDIT」で回避することができます。

【インストールしたサポートソフトを確認する】によって問題が発見された場合は、「RESEDIT」を使って、リソースを変更してください。

・RESEDITを使用する時は、Windows NT 4.0にAdministratorでログインしてください。Administratorでログインしていないと、RESEDITが正常に動作しません。
RESEDITによる変更の結果は他の権限でログインし直した場合にも反映されます。
・RESEDITを起動するときは必ずPCカードを挿入した状態で起動してください。PCカードを挿入していないと、リソースの設定欄に値が表示されません。

Windows NT 4.0で本製品のPCカードに割り当てられたリソースの値を確認する方法は４つあります。
１．［コントロールパネル］→［SCSIアダプタ］→［プロパティ］→［リソース］タブ
２．［コントロールパネル］→［PCカード］→［プロパティ］→［リソース］タブ
３．［プログラム］→［管理ツール（共通）］→［Windows NT 診断プログラム］→［リソース］タブ
４．ここで説明されている「RESEDIT」
上記の１．２．で表示される値は実際と異なることがあります。
３．４．の方法で確認することをお勧めします。

≪RESEDITの使用方法≫

1 「CBIDEⅡシリーズサポートソフト」をフロッピーディスクドライブに挿入します。

2 以下の順にダブルクリックします。

[マイコンピュータ]→[3.5インチFD]→[WINNT40]→[Resedit.exe]

3 競合している「リソースの種類」をクリックします。

競合しているリソースの種類（IRQまたはI/Oポート）をクリックします。

4 リソースの設定変更画面を表示させます。

［自動設定］がチェックされていた場合はチェックを外し、［設定の変更］ボタンをクリックします。



5 ［▼］ボタンをクリックし、リソースの値を選択します。

6 ［OK］ボタンをクリックします。

7 設定を保存するかどうかを確認する画面が表示されますので、［OK］ボタンをクリックしてください。

8 再起動するかどうかを確認する画面が表示されますので、［OK］ボタンをクリックしてください。

≪[オプション]タブ≫
本製品では使用しません。



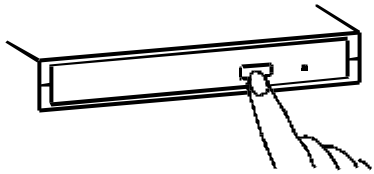
2．基本操作

本製品を使用する上でおぼえてほしいことを説明します。

ディスクの入れ方

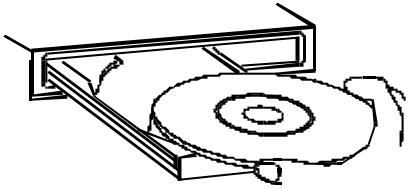
1 イジェクトボタンを押すと、トレイが2㎝程出てきますので、ゆっくりとトレイを引き出します。

無理に引き出すとドライブを損傷させるおそれがあります。
トレイの引き出しは慎重に行ってください。



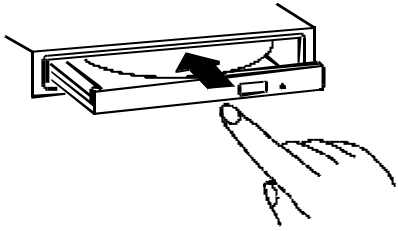
2 ディスクを入れます。

文字などが印刷されているディスク面を上にしてディスクをセットします。両面タイプの場合は再生する方を下面にセットします。
トレイの中心にある軸に、「カチッ」と音がするまでしっかりとディスクをはめ込んでください。



3 トレイを元に戻します。

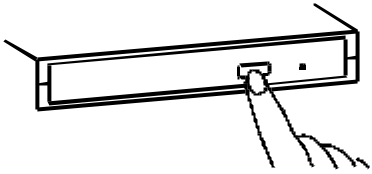
イジェクトボタンに触れないようにトレイ前面を押し、「カチッ」と音がするまでトレイを指で押し込みます。トレイから手を離してもトレイが出てこないことを確認してください。



ディスクの出し方

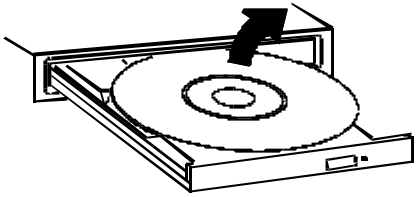
1 イジェクトボタンを押すと、トレイが2cm程出てきますので、ゆっくりとトレイを引き出します。

無理に引き出すとドライブを損傷させるおそれがあります。
トレイの引き出しは慎重に行ってください。



2 ディスクを出します。

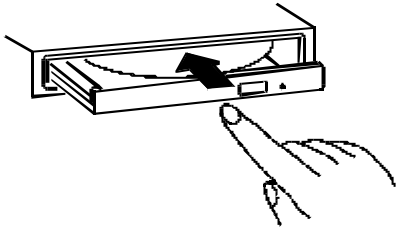
ディスクの回転が完全に止まっていることを確認してからディスクを取り出します。



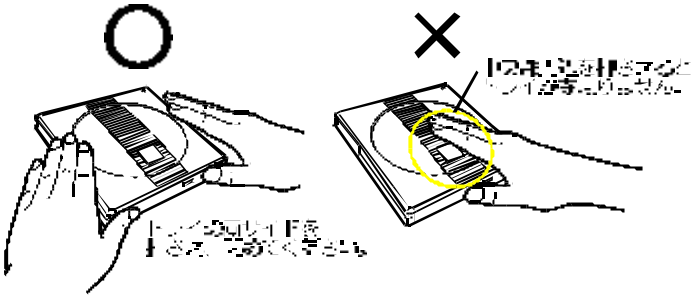
ディスクが取り出せない → **【付録 困ったときには】内の【ディスクが取り出せない】(82ページ)をご覧ください。**

3 トレイを元に戻します。

イジェクトボタンに触れないようにトレイ前面を押し、「カチッ」と音がするまでトレイを指で押し込みます。トレイから手を離してもトレイが出てこないことを確認してください。



トレイを閉める際は、〇のように両サイドを押さえながら閉じてください。
×のように中央部周辺（特に帯状の部分）に力を加えるとトレイが閉まりません。



PCカードの入れ方

本製品に接続したPCカードをパソコンのPCカードスロットに挿入します。

パソコンの電源を入れる前に挿入してください。



ACアダプタを接続して使用する場合は、必ず本製品の電源を入れてから、PCカードを挿入してください。
ACアダプタを接続しないで使用する場合は、本製品のパワースイッチをONにしてから、PCカードを挿入してください。

PCカードの出し方

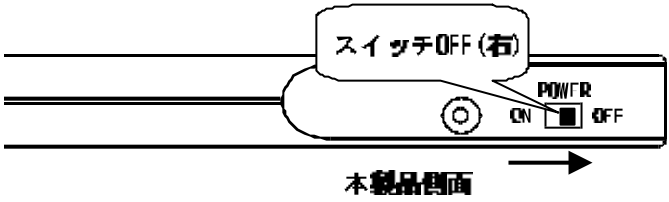
1 本製品のBUSYランプが消えていることを確認します。

2 本製品からディスクを取り出します。

3 パソコンの電源を切ります。

4 PCカードをパソコンから取り外します。

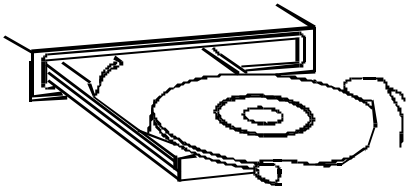
5 本製品の電源を切ります。



3．使ってみよう

ディスクのファイルを見る

1 本製品にディスクを入れます。



2 [マイコンピュータ]や[エクスプローラ]から見ることができます。

音楽CDを聴く

音楽CDを聞くには、オーディオケーブルまたはアンプ付きスピーカーが必要になります。

●パソコンまたはアンプ付きスピーカーで聞く

方法－その1

市販のオーディオケーブルで本製品の「LINE OUT」端子とパソコンの「LINE IN」を接続すれば、パソコンの内蔵スピーカーで音楽CDを聞くことができます。

コラム

音量の調節

音量は、デスクトップ画面右下のタスクトレイ内の［サウンド］アイコンをクリックして表示されるボリュームを使って調節してください。



方法－その2

本製品の「LINE OUT」端子にアンプ付きスピーカーを接続すれば、聞くことができます。

注意

・本製品に接続するスピーカーは必ずアンプ付きのものをご使用ください。アンプ付きでない場合、音量が小さくて聞こえません。
・本製品にボリューム機能はありません。ボリューム付きのスピーカーでボリュームを調整してください。

付録

ここでは、困った時の対処などを記述しています。必要になったらご覧ください。

困った時には ８０ページ

本製品を使用中に異常があったときにお読みください。

ACアダプタなしで使う ９８ページ

添付のACアダプタを使わずに使用する方法を説明します。

ドライバを削除する １０２ページ

「CBIDEⅡシリーズサポートソフト」の削除（アンインストール）方法を説明します。

仕様 １０７ページ

本製品の仕様です。

困った時には

本製品を使用していて異常があったときにご覧ください。

状態（基本的なトラブル）	参照ページ
本製品のパワーランプが点灯しない	８１
本製品のBUSYランプが点滅しない	８１
ディスクが取り出せない	８２
音が出ない	８３

状態（Windows Me/98/95 のトラブル）	参照ページ
[マイコンピュータ]の中に[CD-ROM]アイコンがない	８５
ディスクが読めない	８８
PCカードのプロパティで「(空)-ソケット1(2)」と表示される	８８
VAIO PCG-731/733/737で、サスペンドを利用後にリセットがかかって、Safeモードでないと起動できない	９１
PC98-NXシリーズで、［デバイスマネージャ］タブが表示されない	９２
OS起動中に止まってしまう	９２
Windows 98の終了画面で止まってしまう	９３
PCカードがCardBusモードの時で、サスペンドから復帰したらCD-ROMドライブアイコンが消えたり、アクセスできない	９６
PCカードをパソコンに挿入すると「新しいハードウェア」画面等が表示されたまま、消えない	９７

本製品のパワーランプが点灯しない

原因	本製品とACアダプタの接続またはPCカードのモードが間違っている
対処	ACアダプタを使用している場合は、次を確認してください。 ・ACアダプタが外れていないこと ・PowerスイッチがONになっていること ACアダプタを使用していない場合は、次を確認してください。 ・接続ケーブルのコネクタが外れていないこと ・PowerスイッチがONになっていること ・PCカードのモードが「16bitモード」になっていること （ACアダプタを接続せずに使用するには、PCカードのモードを「16bitモード」に設定する必要があります。）

本製品のBUSYランプが点滅しない

原因１	ディスクが確実に入っていない
対処	ディスクが確実に入っていることを確認してください。

原因２	ケーブルが確実に接続されていない
対処	ケーブルの接続を確認してください。

ディスクが取り出せない

原因1	本製品の上に物が乗せられている
対処	本製品の上に物を置かないでください。

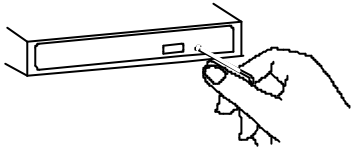
原因2	トレイに何かが引っかかっている
対処	以下の手順にしたがってください。

次の操作は、緊急のための操作です。むやみにご使用になると故障の原因となります。この方法で取り出せない場合は、無理に引き出さず弊社修理係にご依頼ください。(114ページ参照)

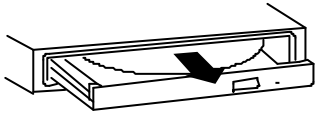
<用意するもの>
太さ1.3㎜程度、長さ15㎜以上(指で持つ部分を除く)の針金 1本
※大きめのペーパークリップを伸ばしても使用することができます。

1 Windowsを終了し、本製品及びパソコン本体の電源をOFFにします。

2 イジェクトホールに針金を差し込み強く押します。



3 トレイが2㎝程度前に出るので手で更に引き出し、ディスクを取り出します。



ディスクを取り出した後、トレイを軽く押し戻してください。

音が出ない

原因1	ディスクが確実に入っていない
対処	ディスクが確実に入っていることを確認してください。

原因2	ディスクが変形/破損していたり、汚れている
対処	変形/破損しているディスクは使用しないでください。また、汚れがある場合は汚れを取り除いてください。

原因3	音声データが入っていないディスクを入れている
対処	音声データが入っているディスクを使用してください。



音楽CDとDVDビデオの音声について

音楽CDとDVDビデオの音声出力の方法は以下のようになります。

- ***音楽CD***

  通常はアナログのオーディオケーブルで接続します。
  Windows 98 Second Edition以降のOSでは、「デジタルオーディオ機能」を有効にすると、音声はデータとして扱われるため、オーディオケーブルの接続は不要になります。（デジタルオーディオ機能を有効にした場合は、アナログ信号は出力されません。また、音飛びが発生する可能性があります。）

- ***DVD ビデオ***

  映像も音声もデータとして送信されるため、オーディオケーブルの接続は不要です。音声はパソコン本体のスピーカーから出力されます。（アナログ信号は出力されません。）

音楽CD再生時

原因４	ケーブルが確実に接続されていない（アナログ再生）
対処	本製品とパソコンを市販のオーディオケーブルで接続している場合は、本製品(LINE OUT)およびパソコン(LINE IN)の接続を再度確認してください。 本製品にアンプ付きスピーカーを接続している場合は、本製品(LINE OUT)の接続を再度確認してください。

原因５	パソコンまたはOSが「デジタルオーディオ機能」に対応していない（デジタル再生）
対処	Windows 95やWindows NT 4.0は「デジタルオーディオ機能」に対応しておりません。原因４の対処をご覧ください。 Windows Me/98の場合は33ページ以降、Windows 2000の場合は58ページ以降をご覧の上、「デジタルオーディオ機能」に対応しているかをご確認ください。対応していない場合は原因４の対処をご覧ください。対応している場合は「デジタルオーディオ機能」の設定をしてください。

[マイコンピュータ]の中に[CD-ROM]アイコンがない

原因１　いくつかの原因が考えられますので、以下の手順で確認してください

1　「マイコンピュータ」を開きます。

2　［最新の情報を表示］します。

［表示］タブ→［最新の情報を表示］の順にクリックします。

これで表示された	**ただ表示されていなかっただけです。このまま、問題無くお使いいただけます。**

3　DVD-ROMドライブとPCカードの接続を確認します。また、PCカードとパソコンの接続を確認します。

ケーブルがコネクタに正しく接続されているか、本製品の電源が入っているかを確認してください。また、PCカードがPCカードスロットの奥まで挿入されているか確認してください。

確認後、一度PCカードをパソコンから取り外し（【PCカードの出し方】(24ページ以降)）、再び挿入し直してみてください。

これで表示された	**正しく接続されていなかっただけです。このまま、問題無くお使いいただけます。**

4　「システムのプロパティ」を表示します。

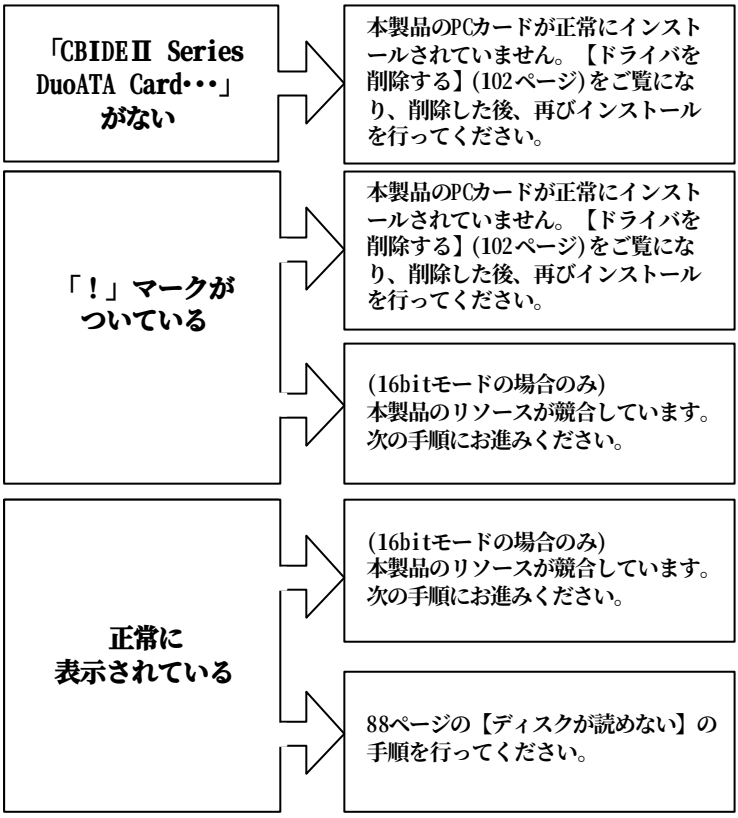
［マイコンピュータ］アイコンを右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。

5　［デバイスマネージャ］タブをクリックします。

6　［種類別に表示］を選択します。

7 ［ハードディスクコントローラ］をダブルクリックします。

8 「CBIDEII Series DuoATA Card……」がその下にあるか確認します。



以降は「16bitモード」でご使用の場合のみご覧ください。

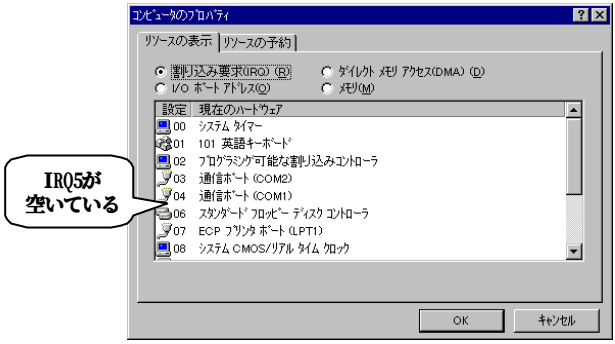
9 ［コンピュータのプロパティ］を表示します。

［コンピュータ］を選択し、［プロパティ］ボタンをクリックします。

10 ［割り込み要求(IRQ)］をクリックします。

11 割り込み(IRQ)の空きを確認します。

表示された数字で0～15の中にない数字があればそこは空いています。



空きがない

使用していない何らかの機能を無効化して割り込みの空きを用意してください。
（無効化する方法についてはパソコン本体の取扱説明書もしくはパソコン本体メーカーにご確認ください）

12 パソコンを再起動します。

これで表示された

IRQが空いたので認識されました。
このまま、問題無くお使いいただけます。

ディスクが読めない

原因	16bit高速アクセスモードが使用できない
対処	①ドライバを削除します。（102ページ参照） ②[16Bit PIO Mode]をインストールします。 インストール（12ページ以降）の手順１～６を行います。 その際、手順５で[16Bit PIO Mode]を選択します。

PCカードのプロパティで「(空)-ソケット1(2)」と表示される

原因	IBM製 ThinkPadで本製品を使用している （Windows 95で、PCカードのモードが16bitモードの場合）
対処	以下の「方法１」を行います。

方法1

1 本製品をパソコンに接続します。

2 ［CardWizard］を起動します。

デスクトップ上にある［CardWizard］アイコンをダブルクリックします。アイコンがない場合は、［スタート］→［プログラム］→［CardWorks］→［CardWizard］の順にクリックします。

両方ない場合は、「方法２」を行ってください。

3 ［表示］→［プロパティ］を選択します。

4 ［ドライバ］タブ内の「カードドライバ」の設定を変更します。

［ドライバ］タブをクリックし、「カードドライバの変更」にチェックします。
次に［プラグアンドプレイを使用］をチェックし、［ＯＫ］ボタンをクリックします。



5 ［OK］ボタンをクリックします。

6 本製品をパソコンから一度抜き、再び挿入します。

方法2

1 「SYSEDIT」を起動します。

［スタート］→［ファイル名を指定して実行］の順にクリックします。「名前」に「SYSEDIT」と入力し、［OK］ボタンをクリックします。

2 「CONFIG.SYS」を編集します。

「CONFIG.SYS」ウィンドウをクリックし、全ての「\Card Works\」の入った行の一番前に「REM 」（REMの後はスペースを入れてください）を追加します。
終わりましたら、上書き保存を行いウィンドウを閉じます。

3 パソコンを再起動します。

4 本製品をパソコンに接続します。

5 「PCカードのプロパティ」を確認します。

方法は、【インストール後の確認】(16ページ)を参照。

6 「SYSEDIT」を起動します。

方法は、手順１を参照。

7 手順 2 で追加した「REM 」を全て削除します。

終わりましたら、上書き保存を行いウィンドウを閉じます。

VAIO PCG-731/733/737で、サスペンドを利用後にリセットがかかって、Safeモードでないと起動できない

原因	サスペンドの設定に問題がある
対処	以下のようにしてください。

1 下側のPCカードスロットにPCカードを挿入します。

2 「Modem Ring Resume」を「オフ」にします。

「PowerPanel」の設定で、「Modem Ring Resume」を「オフ」にします。

※ 「PowerPanel」についてはパソコン取扱説明書をご覧ください。

3 「パワーマネジメント」の設定を変えます。

［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］内の［パワーマネジメント］をダブルクリックします。

［詳細］タブをクリックし、「電話が鳴ったら、コンピュータを元の状態に戻す」のチェックを外します。

PC98-NXシリーズで、[デバイスマネージャ]タブが表示されない

原因	アドバンスドモードにする必要がある
対処	以下のようにしてください。 **1 「Cyber Trio-NXセットアップ」を起動します。** ［スタート］→［プログラム］→［Cyber Trio-NX］（［NXユーティリティ］、［NXの設定］）→［Cyber Trio-NXセットアップ］を起動します。 **2 「アドバンスドモード」にします。** 「アドバンスドモード」にチェックし、［OK］ボタンをクリックします。 **3 Windowsを再起動します。** 自動で再起動されます。 自動で再起動されない場合は、再起動してください。

OS起動中に止まってしまう

原因	本製品のPCカードと他のPCカードの組み合わせが悪い
対処	【本製品のPCカードと他のPCカードを同時に使用する場合の注意】(ivページ)を参照してください。

Windows 98の終了画面で止まってしまう

原因 USBドライバとPCカードのリソースが競合している

方法1 USBドライバのリソース値を、以下の手順で変更してください。

1 PCカードを挿入せずにWindows 98を起動します。

2 「システムのプロパティ」を表示します。

［マイコンピュータ］アイコンを右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。

3 ［デバイスマネージャ］タブをクリックします。

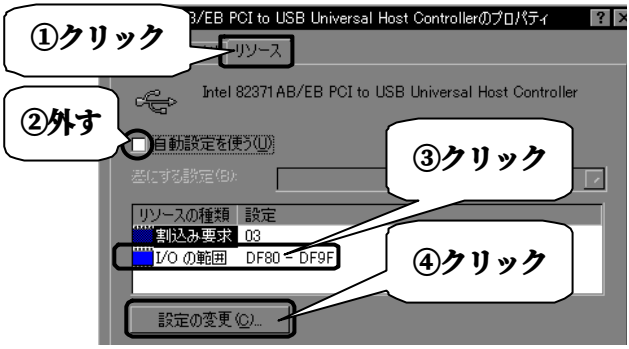
4 USBドライバのプロパティを開きます。

［ユニバーサル シリアル バス コントローラ］をダブルクリックし、その下のUSBドライバをダブルクリックします。



5 ［I/0の範囲］を編集します。

①［リソース］タブをクリックします。
②［自動設定を使う］のチェックを外します。
③［I/0の範囲］を選択します。
④［設定の変更］ボタンをクリックします。



6 ［I/0の範囲］の値を変更します。

「競合の情報」に「競合なし」と出るよう「値」を変更します。
［OK］ボタンをクリックします。

7 表示にしたがい、リソースを有効にします。

8 以上の設定後、再度現象を確認してください。同じ現象が出る場合は、再度別の［I/0の範囲］の値に変更してみてください。

方法2 「方法1」で改善されない場合、以下の方法をお試しください。

1 ［システム情報］を起動します。

［スタート］→［プログラム］→［アクセサリ］→［システムツール］→［システム情報］を順にクリックします。

2 ［詳細設定］を表示します。

［ツール］→［システム設定ユーティリティ］→［詳細設定］を選択します。

3 「高速シャットダウンを使用不可にする」にチェックします。

方法3 USBドライバを、使用不可にします。

1 PCカードを挿入せずにWindows 98を起動します。

2 「システムのプロパティ」を表示します。

［マイコンピュータ］アイコンを右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。

3 ［デバイスマネージャ］タブをクリックします。

4 USBドライバのプロパティを開きます。

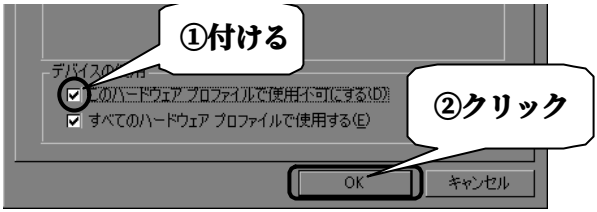
［ユニバーサル シリアル バス コントローラ］をダブルクリックし、その下のUSBドライバをダブルクリックします。



5 USBドライバを無効化します。

［このハードウェアプロファイルで使用不可にする］にチェックをつけます。

［OK］ボタンをクリックします。



トラブルがなおった

リソース(I/0の範囲)の競合が問題です。
「方法1」を再度お試しください。

PCカードがCardBusモードの時で、サスペンドから復帰したらCD-ROMドライブアイコンが消えたり、アクセスできない

原因	本製品のPCカードが認識されていない
対処	PCカードをパソコンから取り外したあと、もう一度挿入し直してください。

PCカードをパソコンに挿入すると「新しいハードウェア」画面等が表示されたまま、消えない

キャンセルボタンをクリックし、以下をご確認ください。

原因１	「サポートソフト」がインストールされていない
対処	12ページ以降をご覧になりサポートソフトをインストールしてください。

原因２	サポートソフトが正しくインストールされていない
対処	①ドライバを削除します。（102ページ参照） ②[16Bit PIO Mode]をインストールします。 インストール（12ページ以降）の手順１～６を行います。 その際、手順５で[16Bit PIO Mode]を選択します。

原因３	32ビットカードドライバがインストールされていない
対処	［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］内の［PCカード（PCMCIA）］アイコンをダブルクリックしてください。 ［PCカード（PCMCIA）のプロパティ］画面以外が表示された場合は、指示にしたがって32ビットカードドライバをインストールしてください。

ACアダプタなしで使う

本製品は、付属のACアダプタを接続せずに使用することもできます。
（パソコン本体から電源供給を受けます。）

ただし、ACアダプタを接続しない場合、以下の条件があります。
以下の表でご確認ください。
（一部のパソコンでは、電源供給能力が低いため、動作しない場合があります。その場合は、ACアダプタを接続してお使いください。）

	ACアダプタを接続する場合	ACアダプタを接続しない場合
本製品の転送モード	高速モード ・8倍速DVD-ROMリード (最大10.8MB/秒) ・24倍速CD-ROMリード (最大3.6MB/秒)	低速モード ・2.5倍速DVD-ROMリード (最大3.4MB/秒) ・12倍速CD-ROMリード (最大1.8MB/秒)
PCカードのモード	「CardBusモード」または 「16bitモード」を設定 ※	「16bitモード」のみ
パワーランプ色	緑	オレンジ

※使用できるモードについては【使うモードを決める】
（7ページ）をご覧ください。
（Windows NT 4.0は「16bitモード」のみです。）

Windows Me/98/95での設定手順 → **99ページ**

Windows 2000での設定手順 → **100ページ**

Windows NT 4.0での設定手順 → **101ページ**

●Windows Me/98/95での設定手順

ここでは、Windows Me/98/95でACアダプタを接続せずに本製品を使用する方法を説明します。

はじめて本製品を使用する場合

【使うモードを決める】(7ページ)からご覧ください。

既にPCカードを「CardBusモード」で使用している場合

①PCカードを取り出します。
②「サポートソフト」を削除します。(102ページ)
③【使うモードを決める】(7ページ)からご覧ください。
(16bitモードに設定してください。)

既にPCカードを「16bitモード」で使用している場合

①PCカードを取り出します。
②本製品のPowerスイッチをOFFにし、ACアダプタを取り外します。
③本製品のPowerスイッチをONにします。
④再度PCカードを挿入すれば使用できます。

●Windows 2000での設定手順

ここでは、Windows 2000でACアダプタを接続せずに本製品を使用する方法を説明します。

はじめて本製品を使用する場合

【使うモードを決める】(7ページ)からご覧ください。

既にPCカードを「CardBusモード」で使用している場合

①PCカードを取り出します。
②「サポートソフト」を削除します。(102ページ)
③【使うモードを決める】(7ページ)からご覧ください。
(16bitモードに設定してください。)

既にPCカードを「16bitモード」で使用している場合

①パソコンを終了し、パソコンの電源を切ります。
②PCカードを取り出します。
③本製品のPowerスイッチをOFFにし、ACアダプタを取り外します。
④本製品のPowerスイッチをONにします。
⑤パソコンの電源を入れ、再度PCカードを挿入すれば使用できます。

●Windows NT 4.0での設定手順

ここでは、Windows NT 4.0でACアダプタを接続せずに本製品を使用する方法を説明します。

はじめて本製品を使用する場合

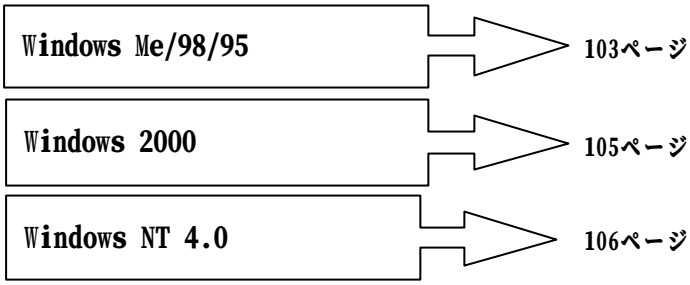
【使うモードを決める】(7ページ)からご覧ください。

既にPCカードを「16bitモード」で使用している場合

①パソコンを終了し、パソコンの電源を切ります。
②PCカードを取り出します。
③本製品のPowerスイッチをOFFにし、ACアダプタを取り外します。
④本製品のPowerスイッチをONにします。
⑤パソコンの電源を入れ、再度PCカードを挿入すれば使用できます。

ドライバを削除する

本製品を使わなくなったり、「CBIDEⅡシリーズサポートソフト」を再インストールする場合は、インストールされた情報を削除（アンインストール）する必要があります。



●Windows Me/98/95

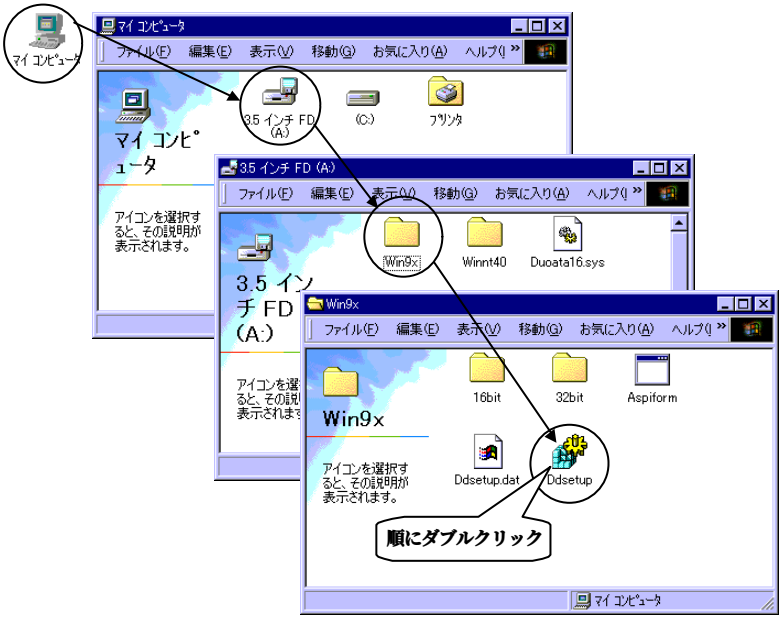
1 PCカードをパソコンのPCカードスロットから抜きます。

必ずPCカードを取り外してください。

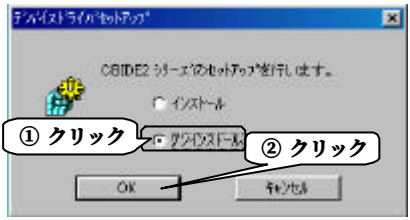
2 「CBIDEⅡシリーズサポートソフト」を挿入します。

3 「サポートソフト」内の「Ddsetup」を起動します。

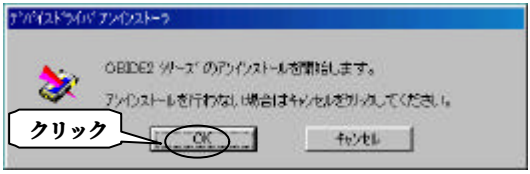
［マイコンピュータ］→［3.5インチFD］→［Win9x］→［Ddsetup］の順にダブルクリックします。



4 **「アンインストール」をクリックし、 [OK]ボタンをクリックします。**



5 **［OK］ボタンをクリックします。**



6 **［OK］ボタンをクリックします。**



7 **「CBIDEⅡシリーズサポートソフト」を抜きます。**

8 **［はい］ボタンをクリックします。**



次回のパソコン起動時より、本製品のPCカードが使えなくなります。

●Windows 2000

1 **PCカードが挿入されている状態でパソコンを起動します。**

2 **［デバイスマネージャ］を起動します。**

［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］内の［システム］→[ハードウェア]タブ→[デバイスマネージャ]ボタンをダブルクリックします。

3 **［CBIDE2 Series DuoATA Card(XXX)］をクリックします。**

4 **右クリックして表示されたメニューから［削除］をクリックします。**

5 **PCカードを抜き、パソコンを再起動します。**

次回のパソコン起動時より、本製品のPCカードが使えなくなります。

CardBusモードでご使用で、45ページの【注意】でそれぞれのスロットに対してインストールを行った場合は、それぞれのスロットに対して削除を行ってください。

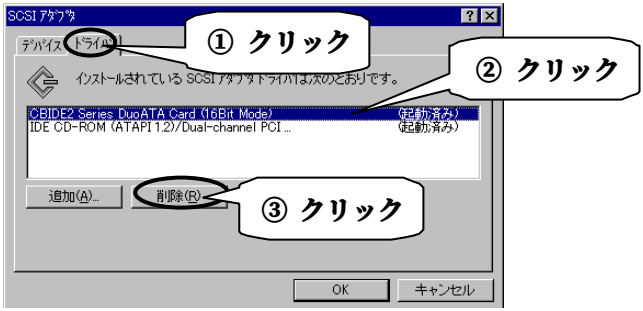
●Windows NT 4.0

1 ［SCSIアダプタ］画面を表示させます。

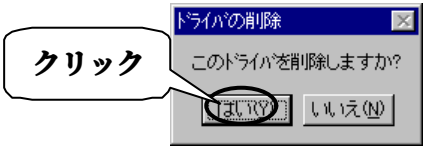
［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］内の［SCSIアダプタ］アイコンをダブルクリックします。

2 本製品のドライバを削除します。

［ドライバ］タブ内の［CBIDE2 Series DuoATA Card(16Bit Mode)］をクリックし、［削除］ボタンをクリックします。



3 ［はい］ボタンをクリックします。



4 ［OK］ボタンをクリックし、［SCSIアダプタ］を閉じます。

次回のパソコン起動時より、本製品のPCカードが使えなくなります。

仕様

●DVD-ROMドライブ（DVDP-i8）

インターフェイス仕様	i・CONNECT
ディスクローディング方式	トレイタイプ パワーイジェクト/手動挿入方式
データバッファサイズ	512KB
データ転送速度（最大）	**・ACアダプタを接続した場合** 8倍速DVD-ROMリード:10.8MB/秒 24倍速CD-ROMリード:3.6MB/秒 **・ACアダプタを外した場合** 2.5倍速DVD-ROMリード:3.4MB/秒 12倍速CD-ROMリード:1.8MB/秒
平均アクセスタイム	**・ACアダプタを接続した場合** DVD-ROM：95ms DVD-RAM：150ms CD-ROM：85ms **・ACアダプタを外した場合** DVD-ROM：130ms CD-ROM：100ms
対応フォーマット（Read Only）	DVD-ROM、DVD-RAM(2.6GB,4.7GB,Write at onceのみ)、 DVD-R(3.95GB,4.7GB)、DVDビデオ、 CD-ROM（Mode1,Mode2）、CD-ROM XA、CD-I、 Photo CDﾏﾙﾁｾｯｼｮﾝ、ビデオCD、音楽CD、CD TEXT、 音声付きCD-ROM、CD Extra、CD-R/RW
アナログライン出力	0.8Vrms（Typical、47KΩ負荷）
使用温度範囲(℃)	+5℃～35℃
使用湿度範囲(%)	20%～85%（結露なきこと）
電源	DC 5.0V 1.7A
外形寸法（突起部を除く）	140.0(W)×150.0(D)×20(H)mm
質量	約380g

●PCカード(CBIDE IIA)



添付のPCカード「CBIDE IIA」は、本製品専用です。
他の製品に使用すると使用した機器を破損する恐れがありますので、絶対に使用しないでください。

モード	CardBusモード	16bitモード
カード仕様	PCカード規格準拠	
選択可能I/Oアドレス	任意の連続した32バイト	180h～187h,386h～387h 190h～197h,396h～397h 1A0h～1A7h,3A6h～3A7h
占有メモリ	任意の連続した 4Kバイトメモリ空間	任意の連続した 4Kバイトメモリ空間※
選択可能IRQ	任意の割り込み(ただしWindows98/95のときのみ使用)	
入力電源	+3.3V±5%	+5V±5%
消費電流	MAX 40mA	MAX 10mA
外形寸法	85.6 X 54.0 X 5 mm (TYPEII規格準拠)	
質量	30g	

※ 32ビットメモリマップ転送を使用する場合は、128Kバイトのメモリ空間をオープンしなければいけません。

●i・CONNECTについて

本製品は「i･CONNECT ™ 」に対応しています。
「i･CONNECT」とは、内蔵型の各種IDE/ATAPIドライブを外付型デバイスとして幅広く活用するためにアイ・オーが考案した接続用コネクタ規格です。

IDE/ATAPIドライブは多くのパソコン本体に標準実装されているため、最新の高性能ドライブをタイムリーにローコストで安定供給できます。

また、「i･CONNECT」搭載ドライブはマルチインターフェイス対応です。
コンバータケーブルにより「USB」や「IEEE1394(FireWire, i.LINK)」ドライブ、Duo ATA PCカードでそのまま「IDE/ATAPI」ドライブとしても使用できます。



※ 本製品のPCカード（CBIDEⅡA）は本製品のDVD-ROMドライブ専用です。
他のドライブでは使用できません。

ユーザー登録をしよう

以下をご覧になり、ユーザー登録を行ってください。

**必要事項の記入もれや必要なシールの貼り忘れなどがあった場合は、
ユーザー登録できません。必ずご確認ください。**

●㈱アイ・オー・データ機器 ユーザー登録

1 添付のVerシールを貼ってください。

ユーザー登録カード、添付フロッピーディスクの「Verシール」と書かれている欄、本書の巻末に貼ってください。

2 添付のハードウェアシリアルNo.シールを貼ってください。

ユーザー登録カード、ハードウェア保証書に貼ってください。

3 オンライン登録する場合

http://www.iodata.co.jp/regist/

インターネットに接続できる環境をお持ちの場合はこちらでユーザー登録を行ってください。

I-O DATA ホームページの画面の表示にしたがって必要事項を記入して、ユーザー登録を行ってください。

オンライン・ユーザー登録後、お手元のユーザー登録カードには、ユーザー登録番号を記入して大切に保管してください。

ハガキで登録する場合

ユーザー登録カードに、必要な事項をご記入のうえ、弊社までご返送ください。

●サイバーリンク㈱ ユーザー登録（PowerDVD VR-X用）

本製品添付の「PowerDVD VR-Xクイックガイド」をご覧になり、ユーザー登録を行ってください。

PowerDVD VR-Xのお問い合わせ

PowerDVD VR-Xには、[iPower!の製品情報ページ]、［readme］、[ヘルプファイル]などが用意されております。よくあるＱ＆Ａなど、役に立つ最新のサポート情報をご覧いただけますので、是非ご一読ください。また、お客様のご質問により迅速に対応する為、インターネットホームページ上にユーザーサポートページを設けております。ご不明な点につきましては、下記ユーザーサポートページをご覧ください。また、サポートページ掲載事例以外の現象などが発生した場合、e-mailをご利用いただいてのサポートを行なっておりますので、下記ユーザーサポートまでお問い合わせいただきます様お願いいたします。

「PowerDVD VR-X」のお問い合わせ

●お問い合わせ先　　サイバーリンク株式会社

ユーザーサポートページURL	**http://www.cli.co.jp/support/**
E-mail	**support@cli.co.jp**
TEL	**03-3662-8076**
FAX	**03-3662-8009**
受付時間	**10:00～13:00、14:00～17:00** **月～金曜日(祝祭日を除く)**

インターネット環境をお持ちでない方は、下記の必要事項をご記入、もしくはご確認いただき、サイバーリンク㈱までFAXまたはTELにてお問い合わせください。

▼必要事項

1.記入日
2.氏名（ユーザー登録名）
3.TEL番号
4.FAX番号
5.住所
6.製品名およびソフトウェアのバージョン
7.CD-Key番号（「PowerDVD VR-Xクイックガイド」内【PowerDVD VR-Xのインストール】に記載されています。）
8.お使いのＰＣ環境
・OS環境（メーカー名、製品名およびバージョン）
・パソコン（CPU（例：Pentium Ⅲ 500）およびメモリ容量）
・ハードウェア構成（メーカー名、製品名）
・DVDドライブ（例：I-O DATA製、DVDP-i8）

サポートセンターへのお問い合わせ

お知らせいただく事項

1. お客様の住所・氏名・郵便番号・連絡先の電話番号及びFAX番号
2. ご使用の弊社製品名。
3. ご使用のサポートソフトのバージョン。
4. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
5. ご使用のOSとアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
6. 現在の状態(「マイコンピュータにCD-ROMアイコンが表示されない」などの内容)。

オンライン

ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ　http://www.iodata.co.jp/support/

郵便

〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地 ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀ第2ビル
住所　株式会社アイ・オー・データ機器
サポートセンター「DVDP-i8」係　宛

電話･FAX

電話番号	金沢　076-260-3661　東京　03-3254-1085
電話受け付け時間	9:30～19:00　月～金曜日(祝祭日を除く)
FAX番号	金沢　076-260-3360　東京　03-3254-9055

本製品に関するお問い合わせはサポートセンターのみで行っています。予めご了承ください。

サポートソフトのバージョンアップ

入手方法は以下の通りです。

オンライン

ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ　　http://www.iodata.co.jp/　→「サポート・ライブラリ」

サービス窓口からの郵送

下記の窓口までお問い合わせください。（送料及び手数料はお客様負担）

住所　〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地 ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
「DVDP-i8」　サービス窓口　宛
電話番号　　076-260-3663
受付時間　　9:30～12:00　13:00～17:00　月～金曜日(祝祭日を除く)

ご注意

●オンラインによるダウンロードはお客様の責任のもとで行ってください。
●添付ソフトウェアの中には、当サービス対象外のソフトウェアもあります。

修理について

修理の前に

故障かな？と思ったときは、

①本書をもう一度ご覧いただき、設定などをご確認ください。

②弊社サポートセンターへお問い合わせください。

（【サポートセンターへのお問い合わせ】をご覧ください）

明らかに故障の場合は、下記内容を参照して、本製品をお送りください。

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

●お客様が貼られたシールなどについて

修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。
その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

●修理金額について

・保証期間中は、無償にて修理いたします。
ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有償となります。

※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。

・保証期間が終了した場合は、有償にて修理いたします。

※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。

・お送りいただいた後、有償修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。
修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。
（ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。）

修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

●メモに控え、お手元に置いてください

お送りいただく製品の製品名、ハードウェアシリアルNO.、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

●これらを用意してください

・必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）

※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。

・下の内容を書いたもの

返送先［住所/氏名/(あれば)FAX番号］,日中にご連絡できるお電話番号,
ご使用環境（機器構成、OSなど）,故障状況（どうなったか）

●修理品を梱包してください

・上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。

・輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。

※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

●修理をご依頼ください

・修理は、販売店へご依頼いただくか、下の送付先※までお送りくださいますようお願いいたします。

※ 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。

・送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

送付先　〒920-8513 石川県金沢市桜田町2 丁目84 番地
アイ・オー・データ第2 ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　修理係　宛

修理品の返送

・修理品到着後、通常約１週間ほどで弊社より返送できます。

※ただし、有償の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。

・修理品の返送日については以下の窓口にお問い合わせください。

●サービス窓口

お問い合わせの際は、ご依頼の際にメモに控えた内容をお伝えください。

電話番号　076-260-3663
受付時間　9:30～12:00　13:00～17:00
月～金曜日（祝祭日を除く）

DVDP-i8 取扱説明書
2001.Feb.26 87803-01
発 行　株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地

© 2001 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品及び本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。

ここにＶｅｒシールをお貼りください

Ｖｅｒシール

「PowerDVD VR-X」のお問い合わせ

●お問い合わせ先　　サイバーリンク株式会社

ユーザーサポートページURL	**http://www.cli.co.jp/support/**
E-mail	**support@cli.co.jp**
TEL	**03-3662-8076**
FAX	**03-3662-8009**
受付時間	**10:00～13:00、14:00～17:00** **月～金曜日(祝祭日を除く)**